

2020年度 広聴調査の結果について(要旨)

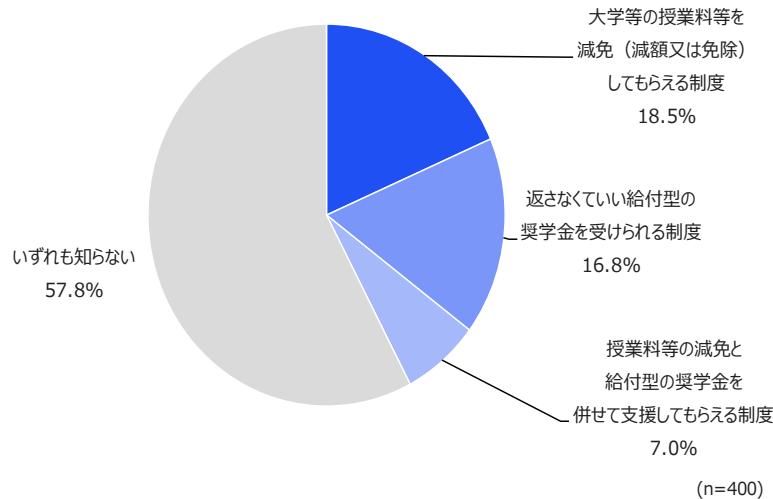
1. 調査概要

- (1) 目的：高等教育の修学支援新制度をはじめとした日本学生支援機構の事業に関する情報提供のあり方の見直しに資するため。
- (2) 調査対象・手法：高校生及び高校生の子供を持つ保護者各400名に対し委託業者によるWebアンケートを実施。

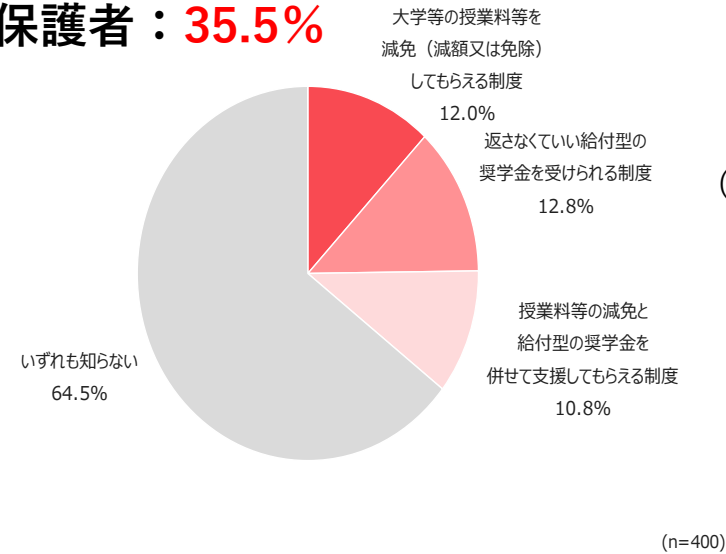
2. 結果の概要

(1) 「高等教育の修学支援新制度」の認知率

高校生：42.3%



保護者：35.5%



(2) 「高等教育の修学支援新制度」の認知経路（上位3項目）

高校生（n=169）

| | |
|--------------|-------|
| 高校の先生または事務職員 | 51.5% |
| 家族・親族 | 20.7% |
| テレビ | 15.4% |

※複数回答（3つまで）

保護者（n=142）

| | |
|--------------|-------|
| 高校の先生または事務職員 | 38.7% |
| ウェブサイト（PC） | 19.7% |
| テレビ | 18.3% |

(3) 進学に関する情報の案内に適した情報経路（上位3項目）

高校生（n=231）

| | |
|--------------|-------|
| 高校の先生または事務職員 | 54.5% |
| テレビ | 38.1% |
| 受験雑誌 | 15.2% |

※複数回答（3つまで）

保護者（n=258）

| | |
|--------------|-------|
| テレビ | 44.6% |
| 高校の先生または事務職員 | 41.9% |
| 新聞 | 24.0% |



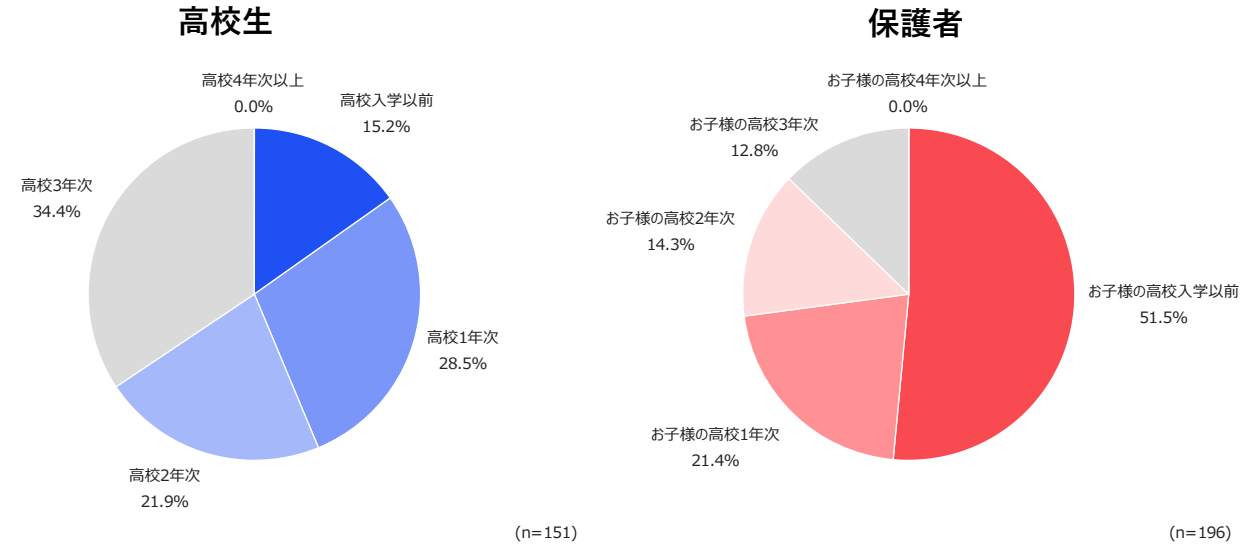
- ・高校生・保護者とも「高等教育の修学支援新制度」の認知率が50%を下回っており、更なる周知が必要。
- ・「高校の先生または事務職員」を通じて情報を得ている割合が高いことから、学校担当者向けの案内等を充実させることで認知率の上昇が期待できる。

(4) 奨学金利用の際に知りたい情報

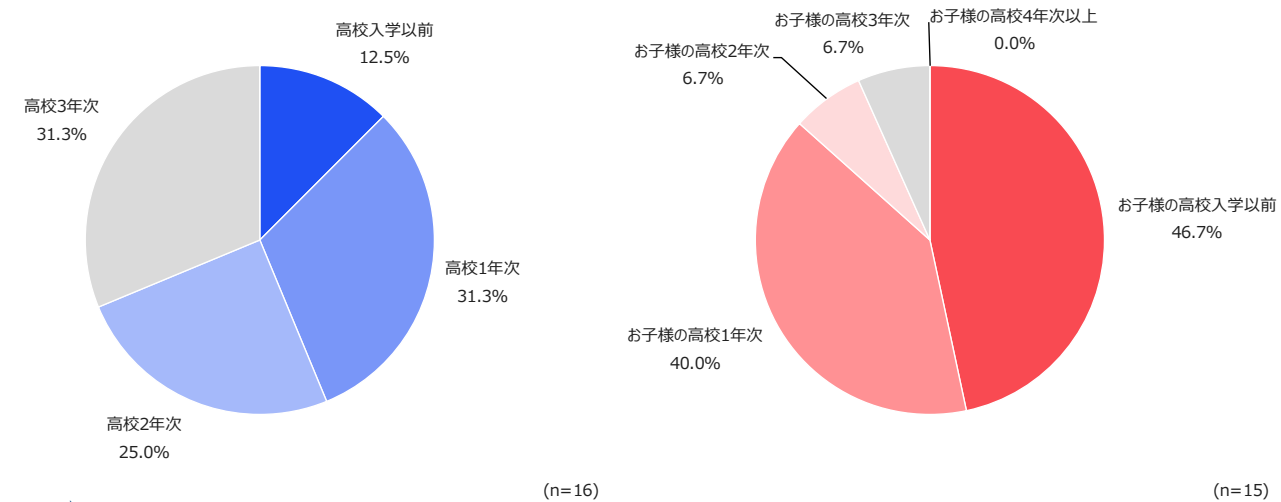
| 高校生 (n=400) | | 保護者 (n=400) | |
|--|-------|--|-------|
| 奨学金の種類 (どのような奨学金があるか) | 68.5% | 奨学金の種類 (どのような奨学金があるか) | 65.5% |
| 採用基準 (どのような人が受けられるのか) | 55.8% | 貸与・給付月額 (毎月受けられる金額) | 48.0% |
| 申込方法 (手続き方法) | 52.0% | 採用基準 (どのような人が受けられるのか) | 46.8% |
| 貸与・給付月額 (毎月受けられる金額) | 47.5% | 申込方法 (手続き方法) | 45.8% |
| 貸与・給付総額 (全部でいくら受けられるのか、 いくら返すことになるのか) | 44.0% | 貸与・給付総額 (全部でいくら受けられるのか、 いくら返すことになるのか) | 36.8% |
| 返還月額 (毎月いくら返すのか) | 42.5% | 返還方法 (どのように返すことになるのか) | 36.3% |
| 返還方法 (どのように返すことになるのか) | 38.5% | 返還月額 (毎月いくら返すのか) | 36.0% |
| 利子をつけて返還する奨学金の返還利率 (どのくらい利子を払うことになるのか) | 34.8% | 利子をつけて返還する奨学金の返還利率 (どのくらい利子を払うことになるのか) | 35.3% |
| 約束通りの返還ができなくなった場合の 救済制度 | 25.5% | 繰上返還 (予定より早く返還する方法) | 25.3% |
| 繰上返還 (予定より早く返還する方法) | 19.0% | 約束通りの返還ができなくなった場合の 救済制度 | 23.5% |
| 機関保証制度 (お金を借りる時に必要な連帯保証人、 保証人を選ぶ代わりに保証機関に保証料 を払う) | 17.8% | 機関保証制度 (お金を借りる時に必要な連帯保証人、 保証人を選ぶ代わりに保証機関に保証料 を払う) | 18.3% |
| その他 | 0.5% | その他 | 3.0% |

➡ 奨学金を利用するに際し、返還に関する情報を知りたいとの回答が一定数あり、返還についての意識が定着していることがうかがわれる。

(5) 国内奨学金事業の認知時期



(6) 海外留学向け給付型奨学金の認知時期



➡ 国内奨学金・留学向け給付型奨学金とも、保護者は高校入学以前の認知率が高い。進学費用について早いうちから検討していることがうかがわれる。



独立行政法人日本学生支援機構


2020年度 広聴調査の概要

目次

| | | |
|----------------------------|-------|----------|
| 調査概要 | | 3 |
| 調査結果の概要 | | 4 |
| 1 回答者プロフィール | | 5 |
| 2 日本学生支援機構の奨学金認知状況 | | 8 |
| 3 「進学資金シミュレーター」の認知状況 | | 10 |
| 4 「高等教育の修学支援新制度」の認知状況 | | 12 |
| 5 「高等教育の修学支援新制度」の認知経路 | | 14 |
| 6 進学に関する情報の案内に適した情報経路 | | 16 |
| 7 進学に関する情報の収集経路 | | 18 |
| 8 日本学生支援機構の事業認知状況 | | 20 |
| 9 国内奨学金事業の認知時期 | | 22 |
| 10 日本学生支援機構の奨学金利用意向 | | 23 |
| 11 奨学金利用の際に知りたい情報 | | 25 |
| 12 海外留学支援事業の認知状況 | | 27 |
| 13 海外留学向け給付型奨学金の認知状況 | | 29 |
| 14 海外留学向け給付型奨学金の認知時期 | | 31 |
| 15 高校卒業後や進学後の留学予定 | | 32 |
| 16 海外留学について知りたい情報 | | 33 |
| 17 日本学生支援機構の、海外留学用ツールの利用状況 | | 35 |
| 18 日本学生支援機構に対してイメージされた単語 | | 37 |
| 19 日本学生支援機構へのご意見・ご要望 | | 38 |

調査概要（2020年度広聴調査 2006年度より隔年で実施。前回は2018年度に実施）

| | |
|----------|---|
| 調査目的 | <ul style="list-style-type: none">・日本学生支援機構の事業に関する情報提供の在り方の見直しに資する情報の収集・特に高等教育の修学支援新制度の認知度やその情報入手の方法などについて調査 |
| 調査エリア | 全国47都道府県 |
| 調査対象者 | ①高校生 ②高校生の子供をもつ保護者 ※①と②は必ずしも親子ではない |
| サンプル数・割付 | 有効回答数 800名 【割付】 高校生 400名 高校生の子供をもつ保護者（以下「保護者」） 400名 |
| 調査期間 | 2021年1月18日（月）～2021年1月19日（火） |
| 調査手法 | インターネット定量調査 |



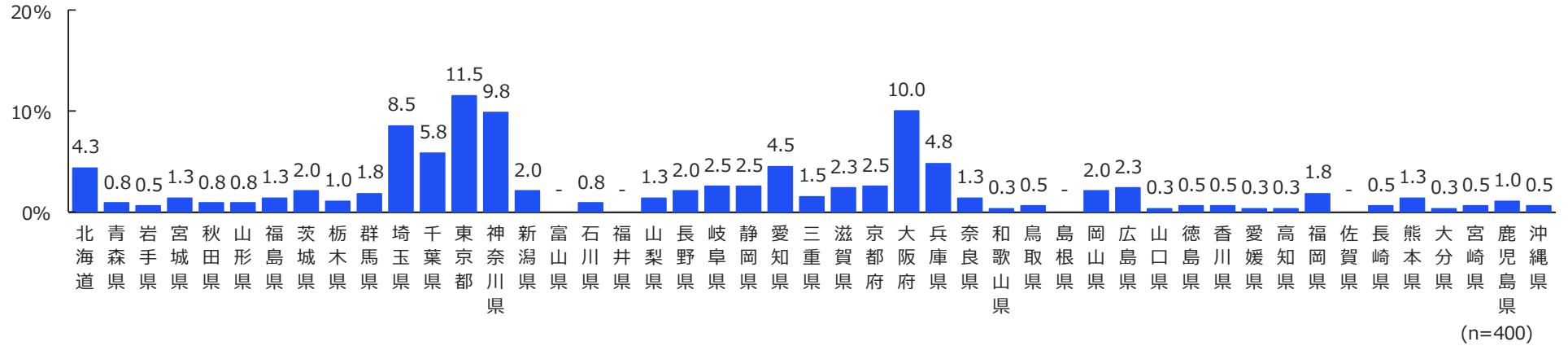
調査結果の概要

1 回答者プロフィール

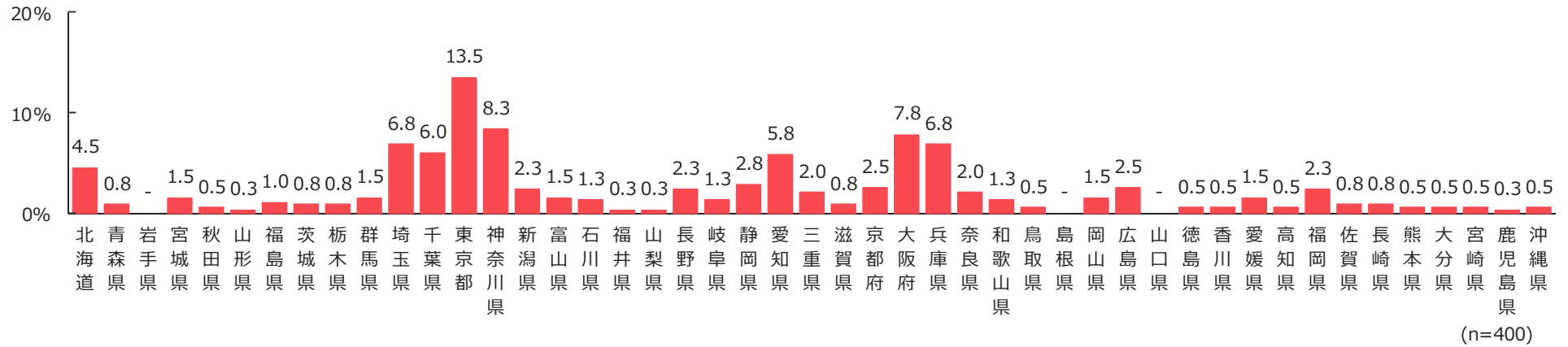
高校生

保護者

高校生 (400名)



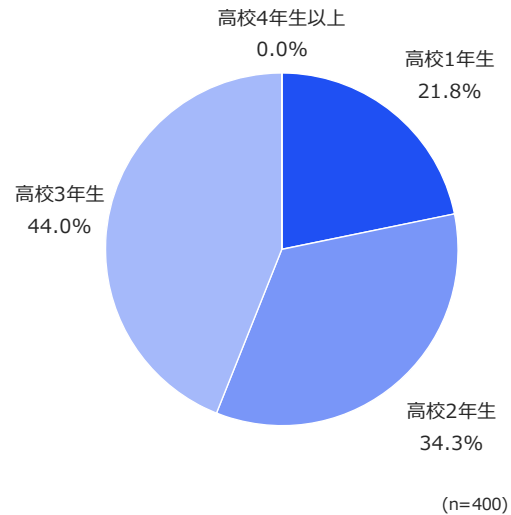
保護者 (400名)



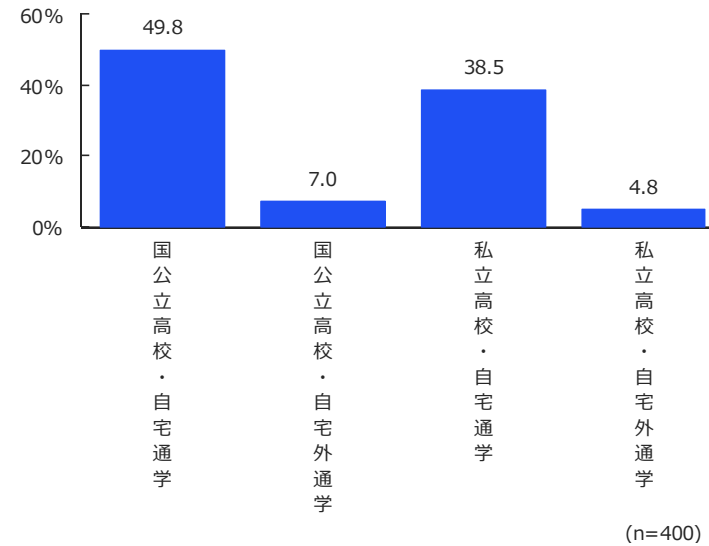
1 回答者プロフィール

高校生

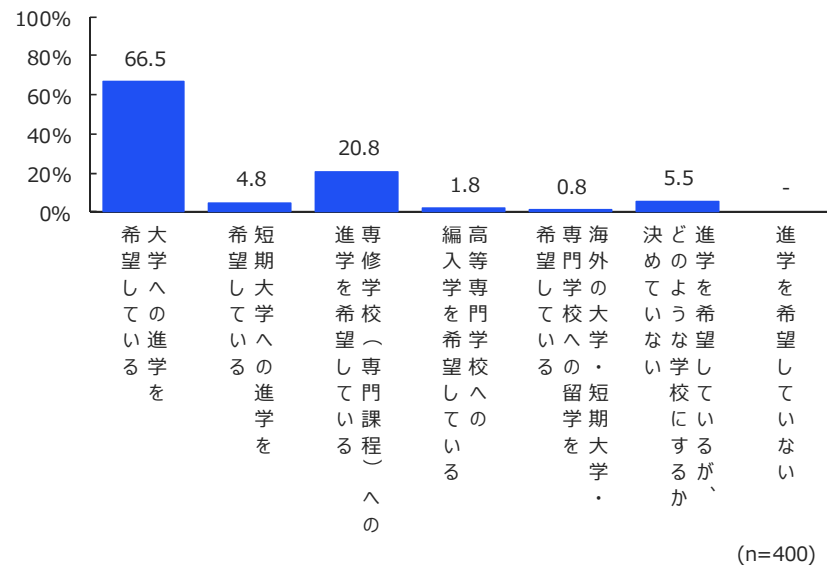
学年



高校種別と通学状況



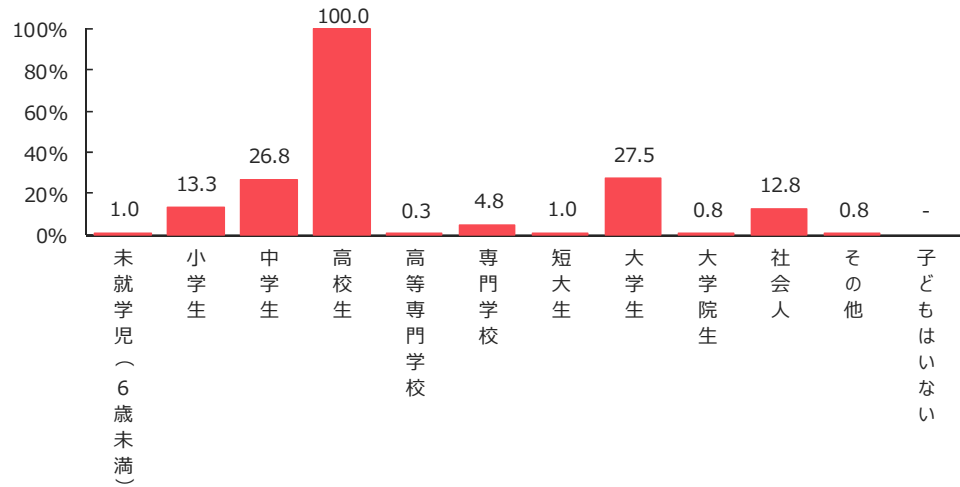
希望進学先



1 回答者プロフィール

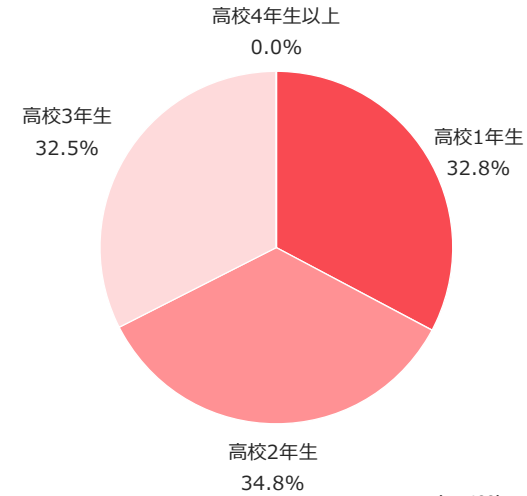
保護者

子どもの就業状態



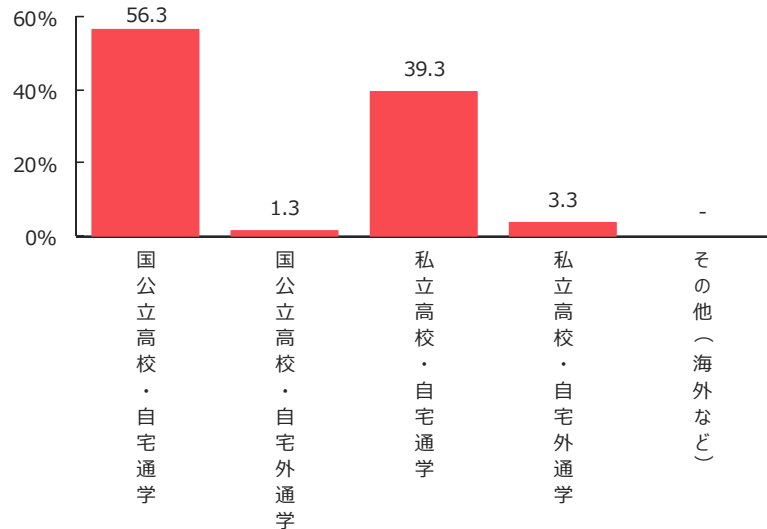
(n=400)

子どもの学年



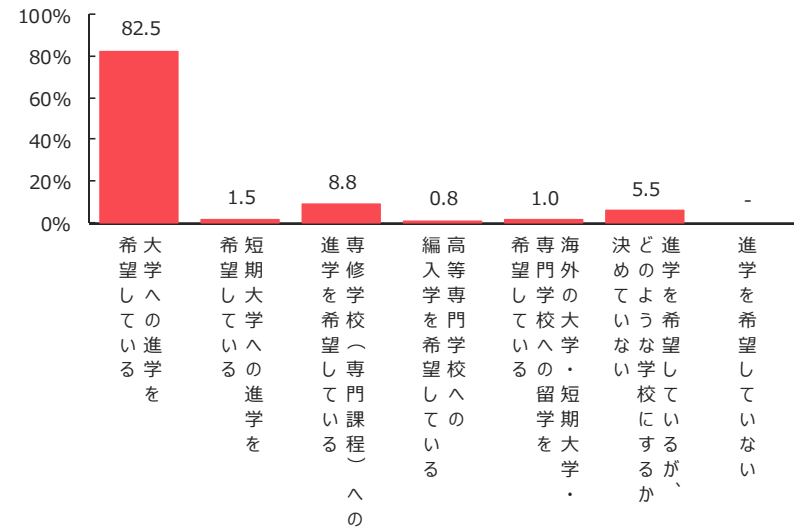
(n=400)

子どもの高校種別と通学状況



(n=400)

子どもの希望進学先



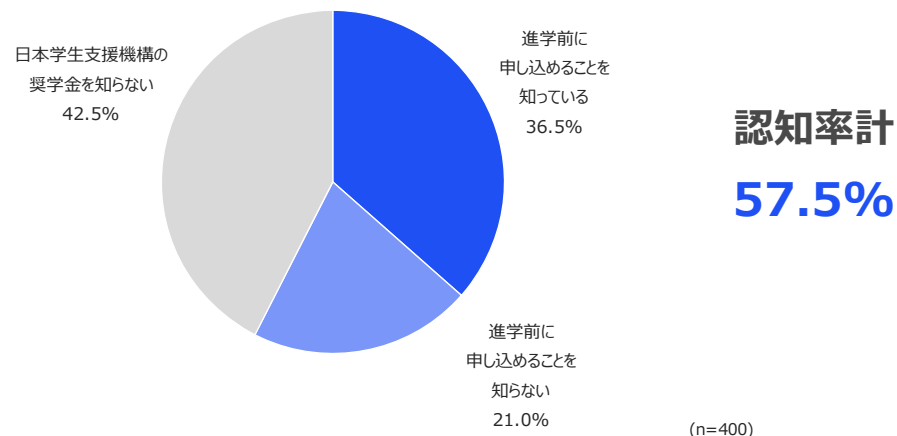
(n=400)

2 日本学生支援機構の奨学金認知状況

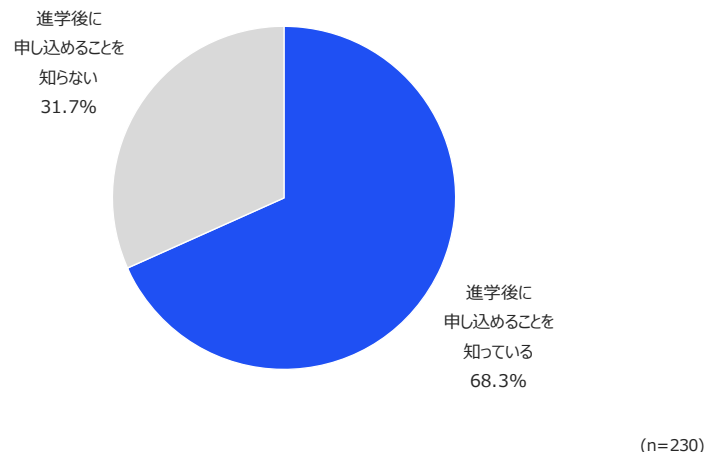
高校生

- 日本学生支援機構（以下「JASSO」。）の奨学金を認知しているのは58%。
「進学前に申し込めることを知っている」のは全体では37%で、奨学金について認知している高校生の63%に当たる。「進学後に申し込めることを知っている」のは68%。
- 「給付奨学金と貸与奨学金のどちらのことも知っている」のは59%。

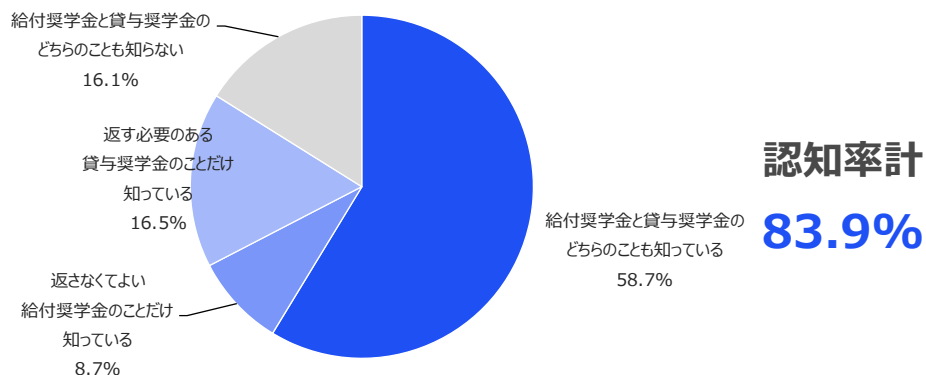
進学前に申し込める (Q1)



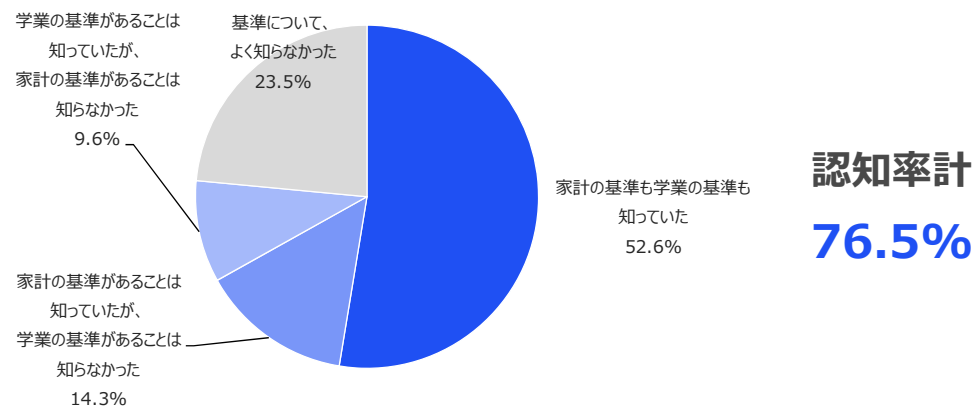
進学後に申し込める (Q2)



給付奨学金と貸与奨学金 (Q3)



家計の基準と学業の基準 (Q4)



Q1 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金は、大学等へ進学する前であったとしても事前に申し込めることを知っていますか。（単一回答）

Q2 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金は、大学等への進学後に申し込めることを知っていますか。（単一回答）【日本学生支援機構の奨学金認知者ベース】

Q3 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金には、返さなくてよい給付奨学金と返す必要のある貸与奨学金があることを、あなたは知っていますか。（単一回答）【日本学生支援機構の奨学金認知者ベース】

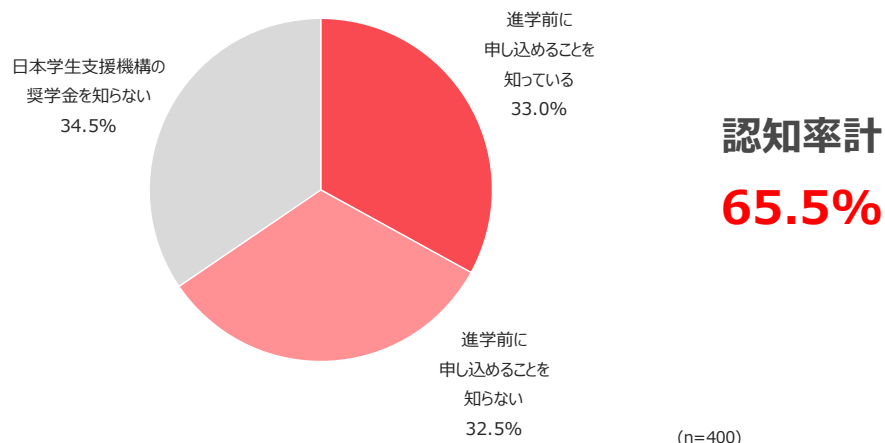
Q4 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金に採用されるには、主に、家計の基準と学業の基準があることを知っていましたか。（単一回答）【日本学生支援機構の奨学金認知者ベース】

2 日本学生支援機構の奨学金認知状況

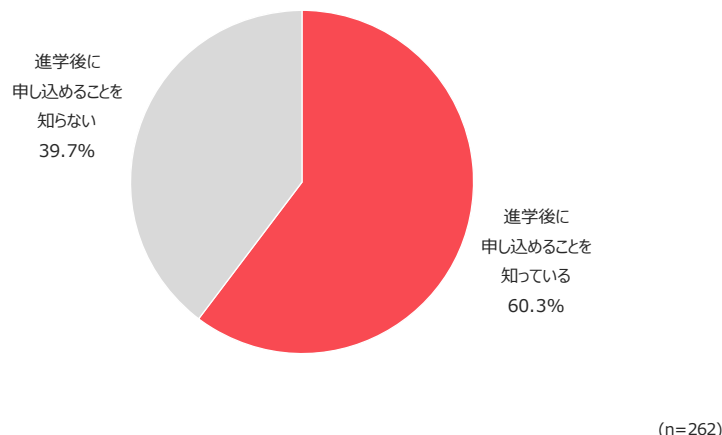
保護者

- JASSOの奨学金を認知しているのは66%。
「進学前に申し込めることを知っている」のは全体では33%で、奨学金について認知している保護者の50%に当たる。「進学後に申し込めることを知っている」のは60%。
- 「給付奨学金と貸与奨学金のどちらのことも知っている」のは61%。

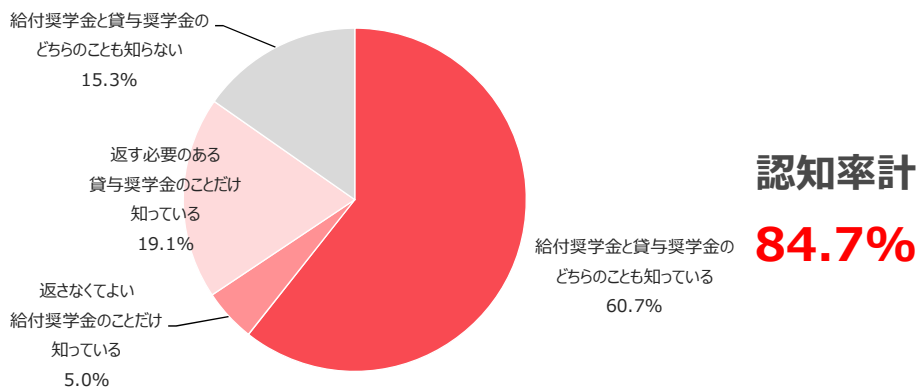
進学前に申し込める (Q1)



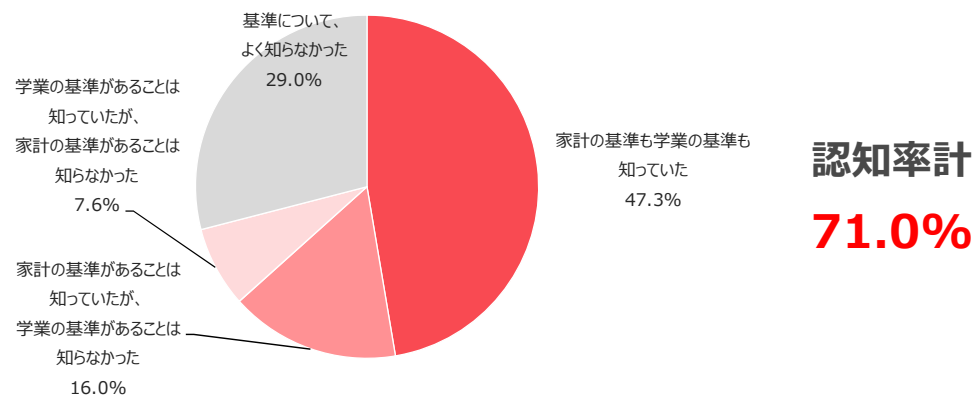
進学後に申し込める (Q2)



給付奨学金と貸与奨学金 (Q3)



家計の基準と学業の基準 (Q4)



Q1 日本学生支援機構 (JASSO) の奨学金は、大学等へ進学する前であったとしても事前に申し込めることを知っていますか。(単一回答)

Q2 日本学生支援機構 (JASSO) の奨学金は、大学等への進学後に申し込めることを知っていますか。(単一回答)【日本学生支援機構の奨学金認知者ベース】

Q3 日本学生支援機構 (JASSO) の奨学金には、返さなくてよい給付奨学金と返す必要のある貸与奨学金があることを、あなたは知っていますか。(単一回答)【日本学生支援機構の奨学金認知者ベース】

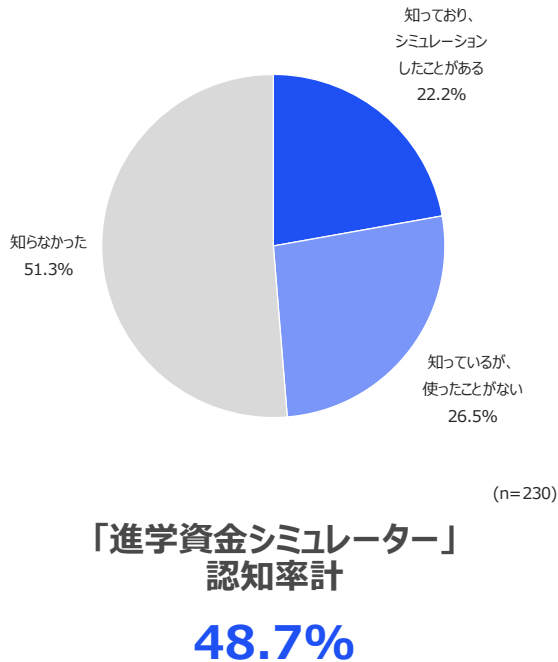
Q4 日本学生支援機構 (JASSO) の奨学金に採用されるには、主に、家計の基準と学業の基準があることを知っていましたか。(単一回答)【日本学生支援機構の奨学金認知者ベース】

3 「進学資金シミュレーター」の認知状況

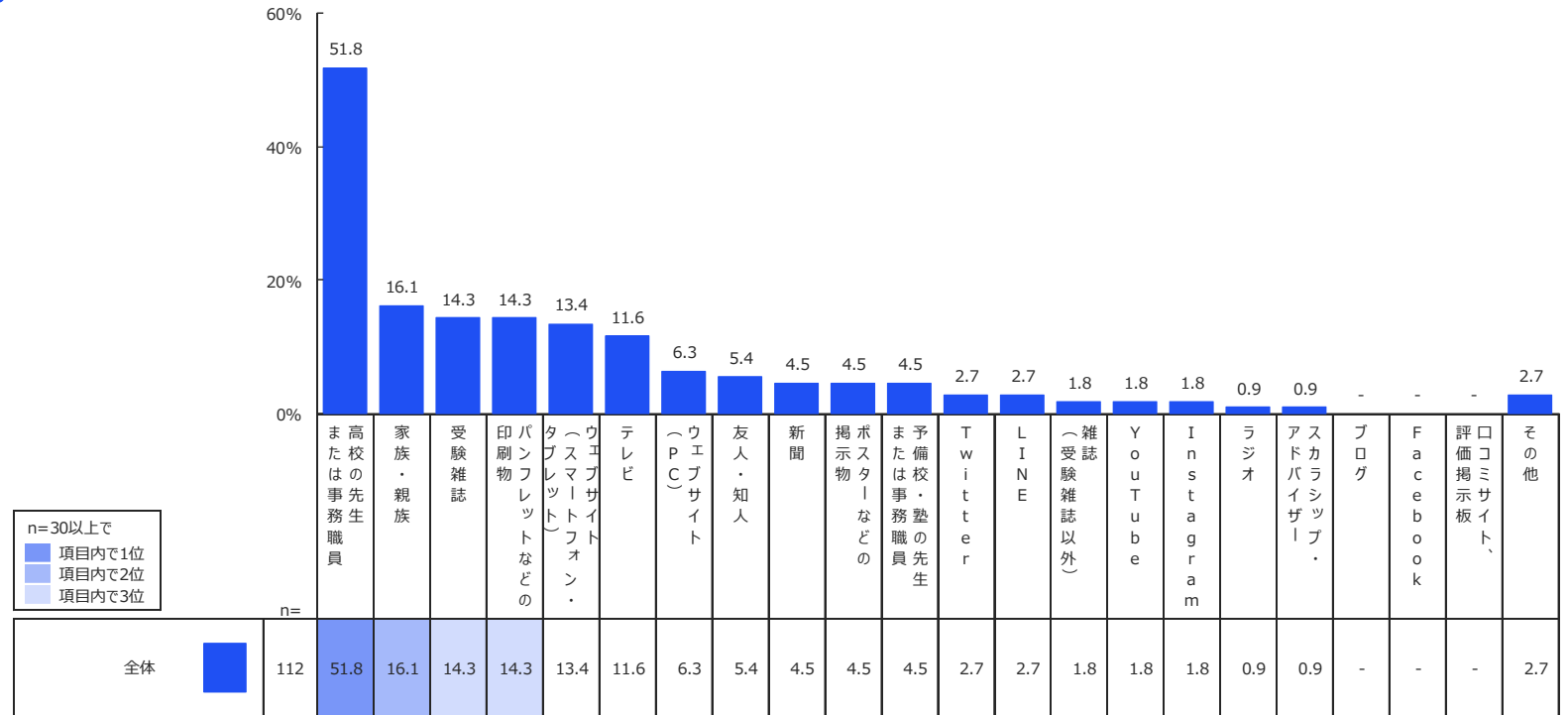
高校生

- 「進学資金シミュレーター」を認知しているのは49%。実際にシミュレーションしたことがあるのは22%。
- 認知経路は「高校の先生または事務職員」が52%で最も高く、次に「家族・親族」（16%）と続く。高校生への情報提供に当たり「高校の先生または事務職員」が重要であることがわかる。

認知 (Q5)



認知経路 (Q6)



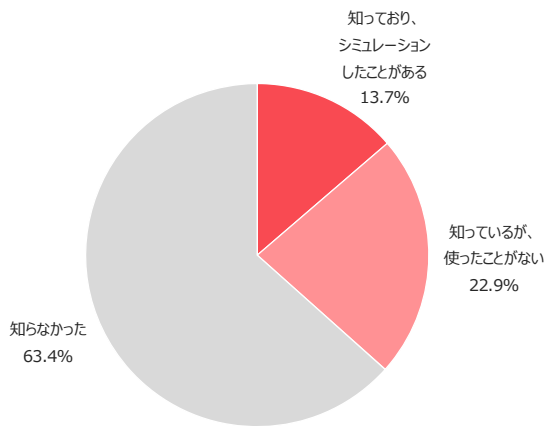
Q5 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金を申し込むにあたり、「進学資金シミュレーター」について知っていましたか。（単一回答）【日本学生支援機構の奨学金認知者ベース】

Q6 「進学資金シミュレーター」について、どこで（何で）知りましたか。主なものを3つまで選んでください。（複数回答）【「進学資金シミュレーター」認知者ベース】

3 「進学資金シミュレーター」の認知状況

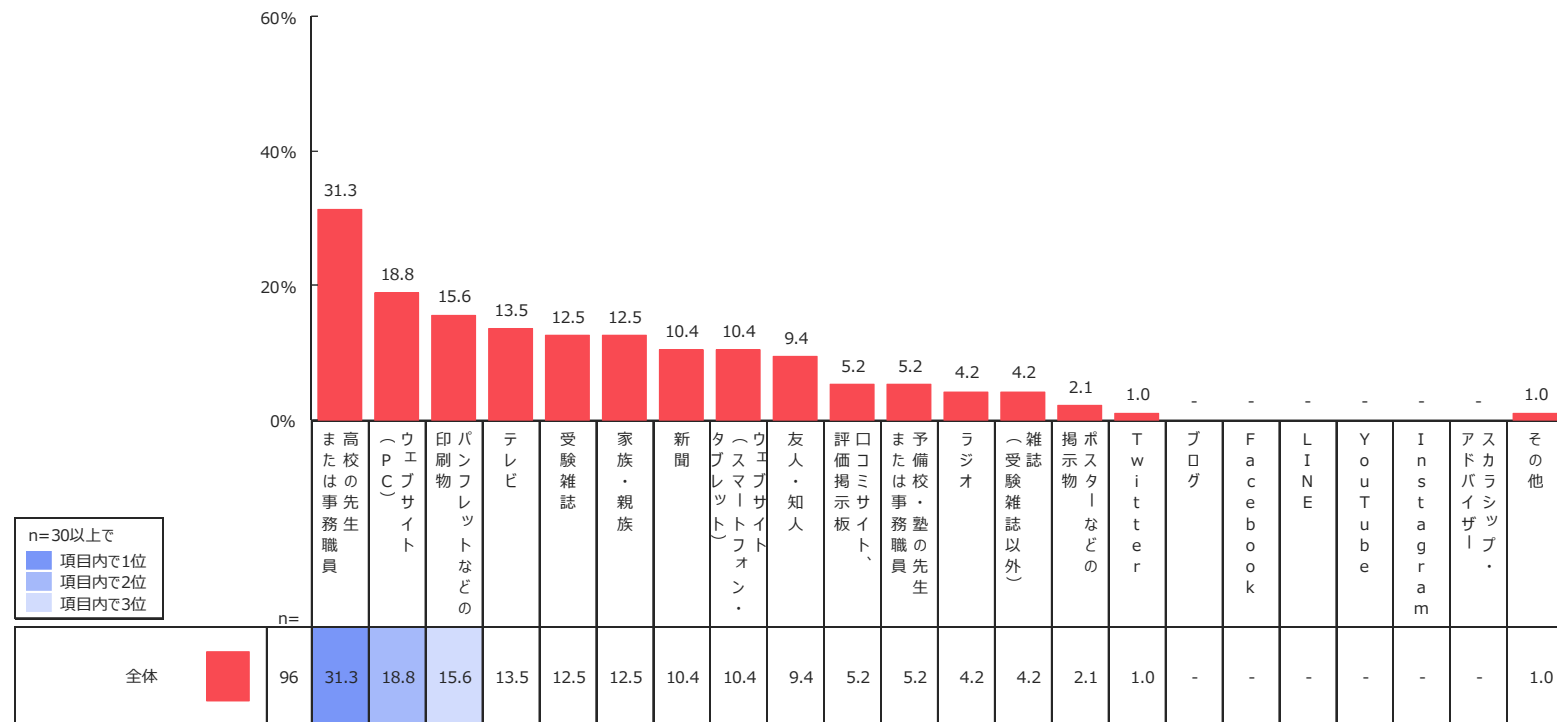
- 「進学資金シミュレーター」を認知しているのは37%。実際にシミュレーションしたことがあるのは14%。
- 認知経路は高校生と同じく「高校の先生または事務職員」が31%で最も高く、次に「ウェブサイト（PC）」（19%）、「パンフレットなどの印刷物」（16%）と続く。

認知 (Q5)



「進学資金シミュレーター」
認知率計
36.6%

認知経路 (Q6)



n=30以上で
■ 項目内で1位
■ 項目内で2位
■ 項目内で3位

(n=262)

※全体の値を基準に降順並び替え

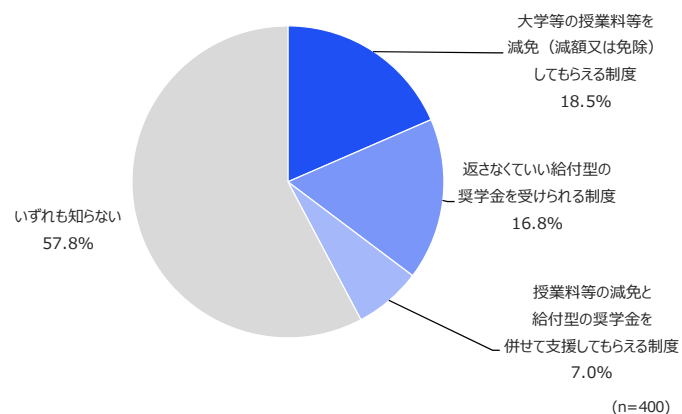
Q5 日本学生支援機構 (JASSO) の奨学金を申し込むにあたり、「進学資金シミュレーター」について知っていましたか。(単一回答)【日本学生支援機構の奨学金認知者ベース】

Q6 「進学資金シミュレーター」について、どこで (何で) 知りましたか。主なものを3つまで選んでください。(複数回答)【「進学資金シミュレーター」認知者ベース】

4 「高等教育の修学支援新制度」の認知状況

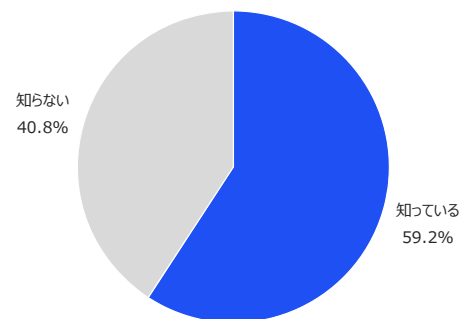
■ 「高等教育の修学支援新制度」について、いずれかの制度を認知しているのは42%。進学先の制限、申込みが必要であること、申請の手続きについては、制度を認知している高校生の50%超が認知。

知っている制度 (Q7)

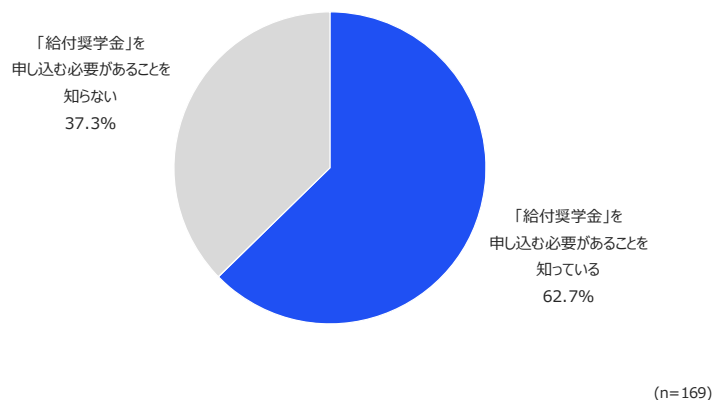


認知率計
42.3%

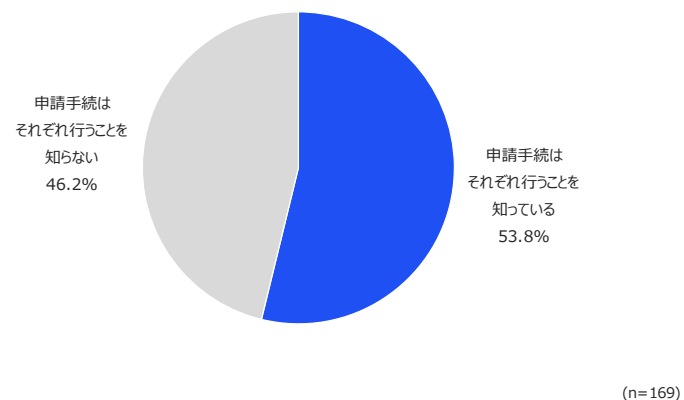
国などから一定の要件を満たすと認められた学校に進学（在学）した場合にのみ、支援を受けることができる (Q8)



まず「給付奨学金」を申し込む必要があること (Q9)



「授業料等の減免・免除」（大学等が行う）と「給付型奨学金」（日本学生支援機構が行う「給付奨学金」）で申請手続きはそれぞれ行うこと (Q10)



Q7 「高等教育の修学支援新制度」に関し、あなたが知っているものについて、あてはまるものをひとつ選んでください。（単一回答）

Q8 「高等教育の修学支援新制度」は、国などから一定の要件を満たすと認められた学校に進学（在学）した場合にのみ、支援を受けることができることを知っていますか。（単一回答）

Q9 「高等教育の修学支援新制度」は2つの支援により学生をサポートする制度です。この2つの支援をセットで受けるためには、まず「給付奨学金」を申し込む必要があることを、あなたは知っていますか。（単一回答）

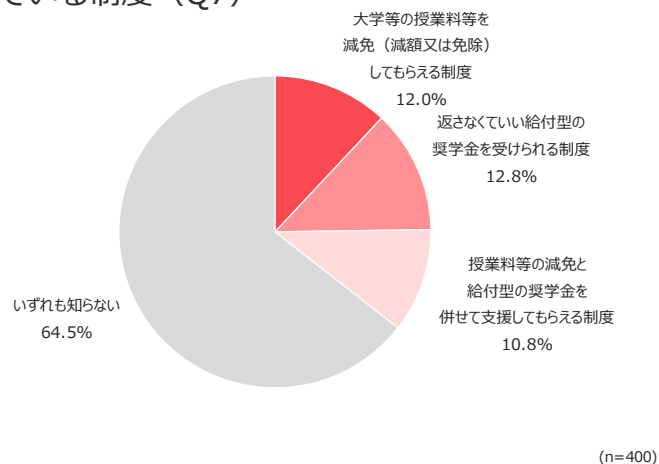
Q10 「授業料等の減免・免除」は大学等が行い、「給付型奨学金」は日本学生支援機構が「給付奨学金」として支給します。申請手続きはそれぞれ行うことをあなたは知っていますか。（単一回答）

【Q8～Q10 「高等教育の修学支援新制度」についていずれか認知者ベース】

4 「高等教育の修学支援新制度」の認知状況

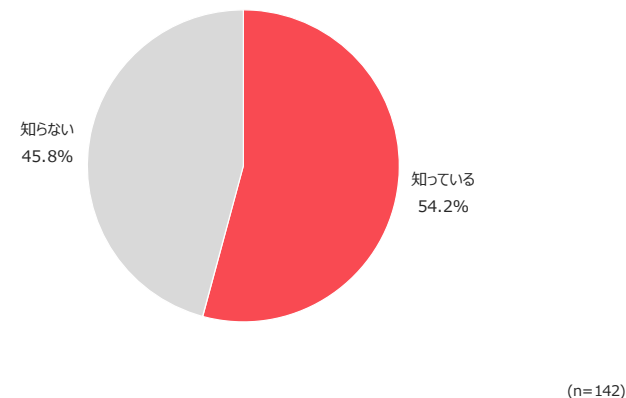
■ 「高等教育の修学支援新制度」について、いずれかの制度を認知しているのは36%で、高校生の認知率より低い。

知っている制度 (Q7)

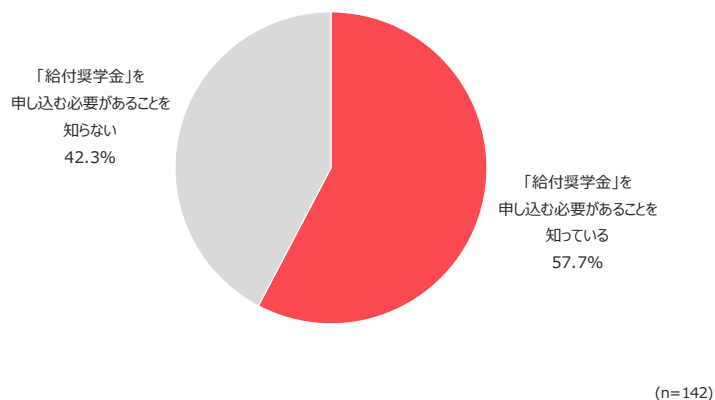


認知率計
35.5%

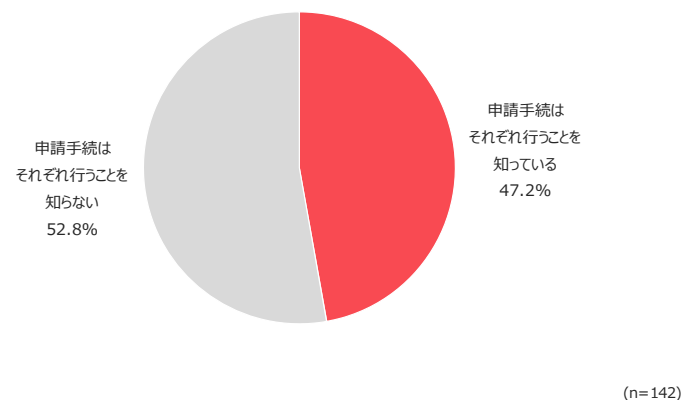
国などから一定の要件を満たすと認められた学校に進学（在学）した場合にのみ、支援を受けることができる (Q8)



まず「給付奨学金」を申し込む必要があること (Q9)



「授業料等の減免・免除」（大学等が行う）と「給付型奨学金」（日本学生支援機構が行う「給付奨学金」）で申請手続はそれぞれ行うこと (Q10)



Q7 「高等教育の修学支援新制度」に関し、あなたが知っているものについて、あてはまるものをひとつ選んでください。（単一回答）

Q8 「高等教育の修学支援新制度」は、国などから一定の要件を満たすと認められた学校に進学（在学）した場合にのみ、支援を受けることができることを知っていますか。（単一回答）

Q9 「高等教育の修学支援新制度」は2つの支援により学生をサポートする制度です。この2つの支援をセットで受けるためには、まず「給付奨学金」を申し込む必要があることを、あなたは知っていますか。（単一回答）

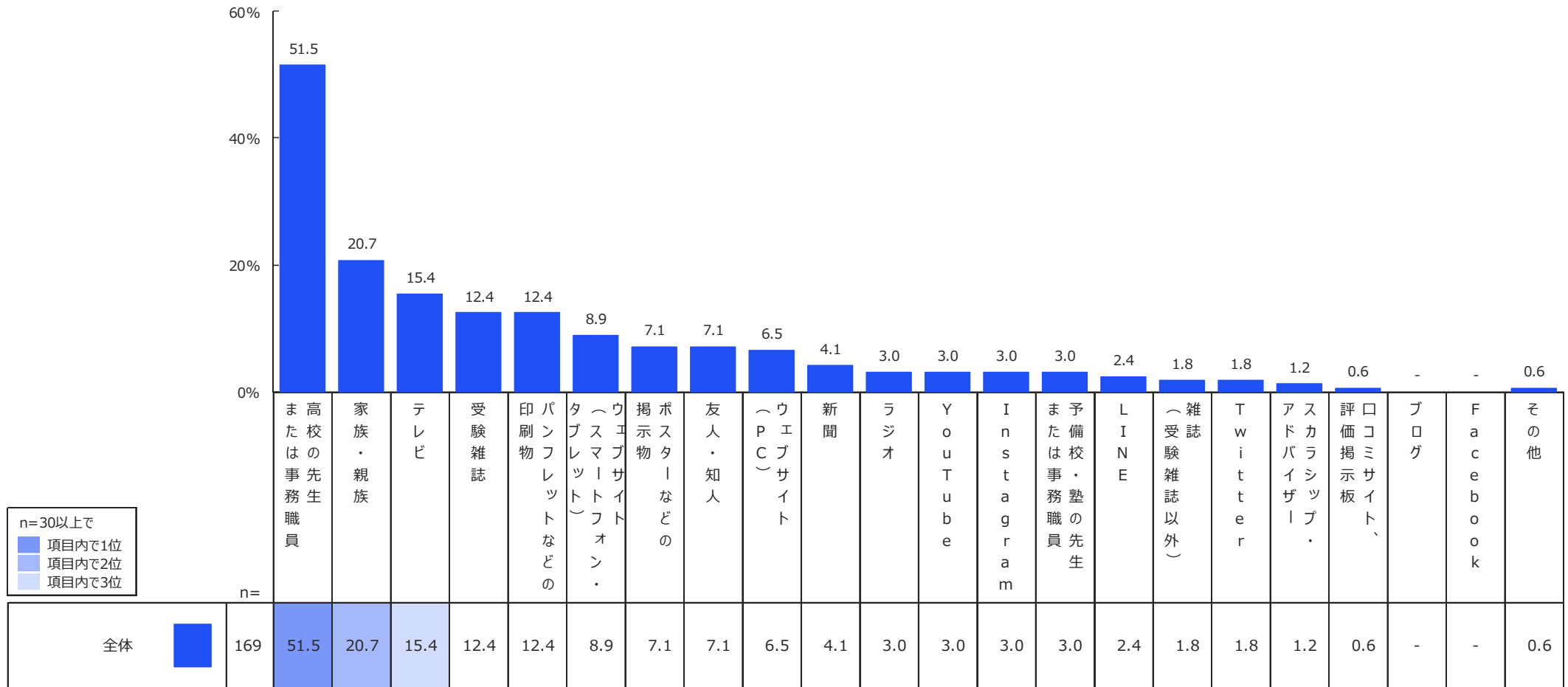
Q10 「授業料等の減免・免除」は大学等が行い、「給付型奨学金」は日本学生支援機構が「給付奨学金」として支給します。申請手続はそれぞれ行うことをあなたは知っていますか。（単一回答）

【Q8～Q10 「高等教育の修学支援新制度」についていずれか認知者ベース】

5 「高等教育の修学支援新制度」の認知経路

高校生

- 「高校の先生または事務職員」が52%で最も高く、他の項目の倍以上。
次に「家族・親族」（21%）と続き、親等から情報を得ていることがわかる。



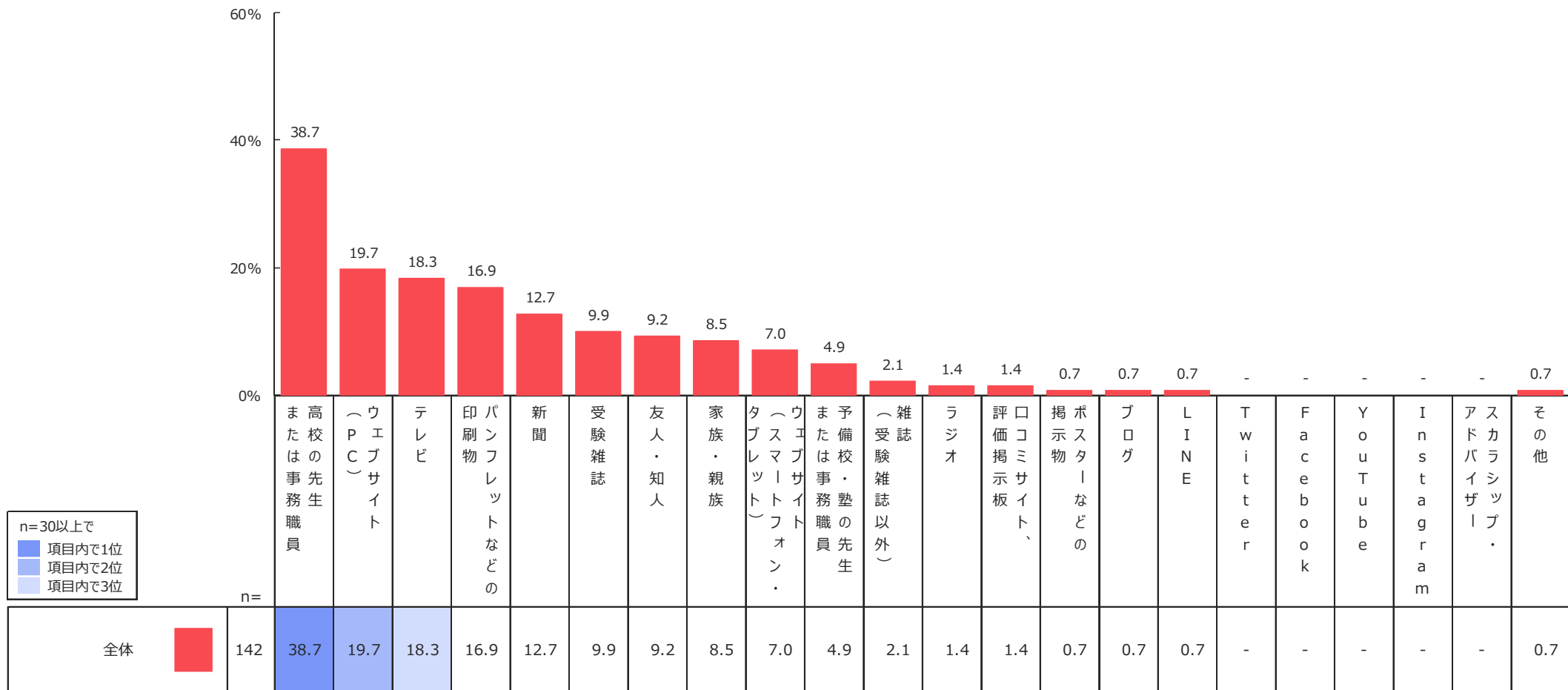
※全体の値を基準に降順並び替え

Q11 「高等教育の修学支援新制度」の内容についてどこで（何で）知りましたか。主なものを3つまで選んでください。（複数回答）
【「高等教育の修学支援新制度」についていずれか認知者ベース】

5 「高等教育の修学支援新制度」の認知経路

保護者

- 「高校の先生または事務職員」が39%で最も高い。次に「ウェブサイト（PC）」（20%）、「テレビ」（18%）と続く。「ウェブサイト（PC）」の割合は高校生の3倍となっている。
- 高校生と異なり、「家族・親族」からの認知率は低い。一方、高校生は「家族・親族」からの認知率が21%と高いことから、制度の認知率向上には保護者に向けての情報提供が重要であることがわかる。



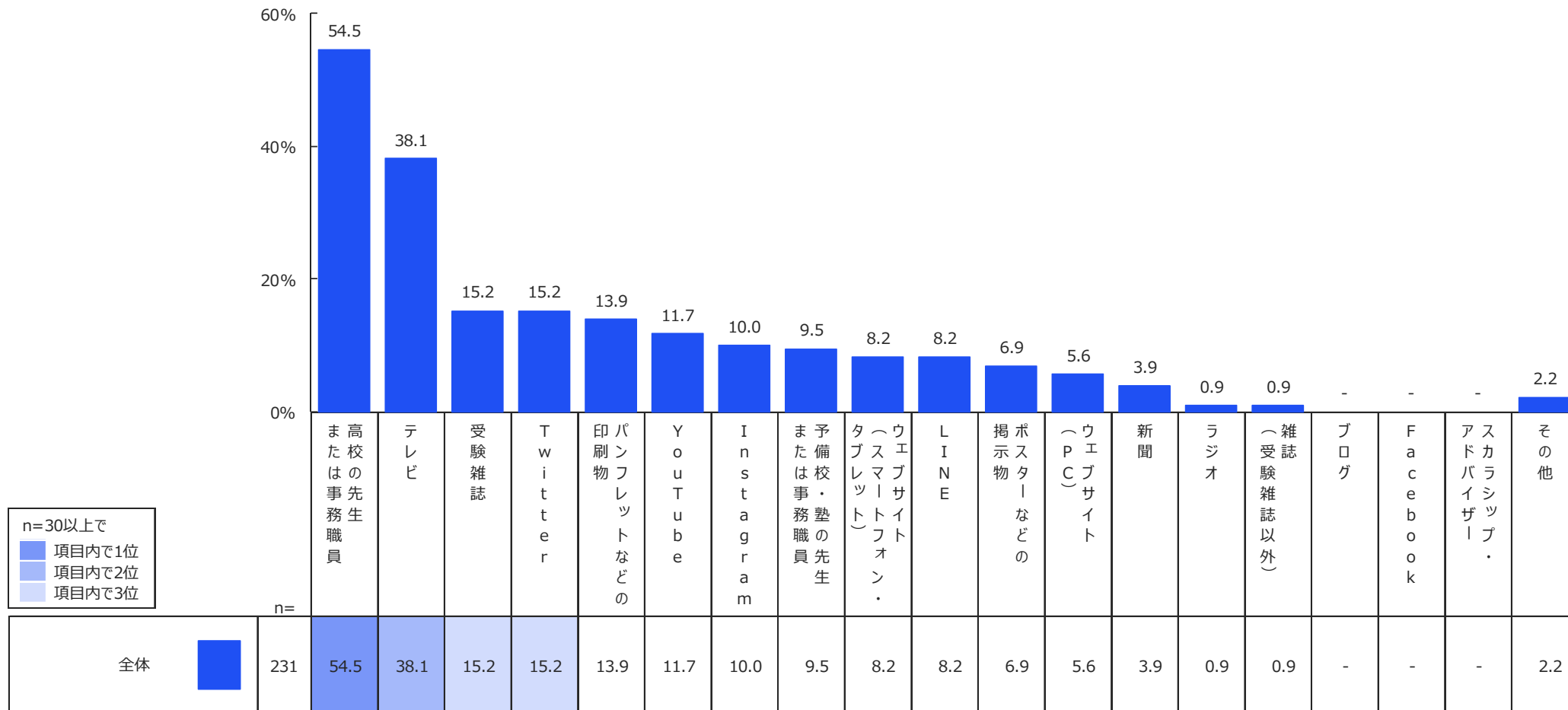
※全体の値を基準に降順並び替え

Q11 「高等教育の修学支援新制度」の内容についてどこで（何で）知りましたか。主なものを3つまで選んでください。（複数回答）
 【「高等教育の修学支援新制度」についていずれか認知者ベース】

6 進学に関する情報の案内に適した情報経路

高校生

- 「高校の先生または事務職員」が55%で最も高く、次に「テレビ」(38%)、「受験雑誌」「Twitter」(各15%)と続く。
- 「受験雑誌」や「パンフレットなどの印刷物」(14%)との回答が一定数あることから、マスコミ・自治体等作成の広報物に、JASSO側から積極的な情報発信を行うことが効果的であると考えられる。

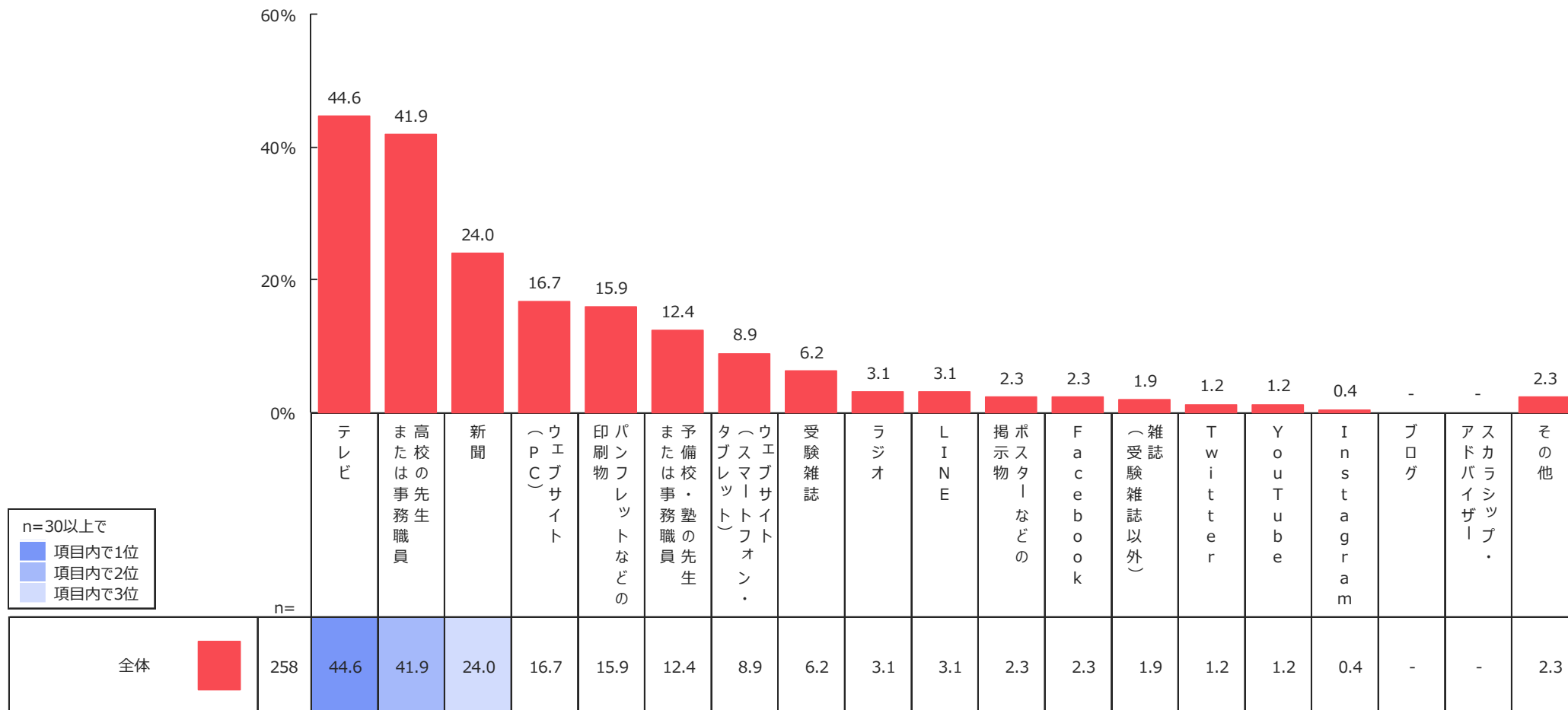


Q12 「高等教育の修学支援新制度」などの進学に関する情報は、どのようなもので案内されていたら知ることができたと思いますか。主なものを3つまで選んでください。(複数回答)
 【「高等教育の修学支援新制度」についていずれも知らない回答者ベース】

6 進学に関する情報の案内に適した情報経路

保護者

- 「テレビ」が45%で最も高く、次に「高校の先生または事務職員」（42%）と続く。
- 「新聞」（24%）との回答が一定数あることから、新聞社等の取材対応等の際に、JASSO側から積極的な情報発信を行うことが効果的であると考えられる。



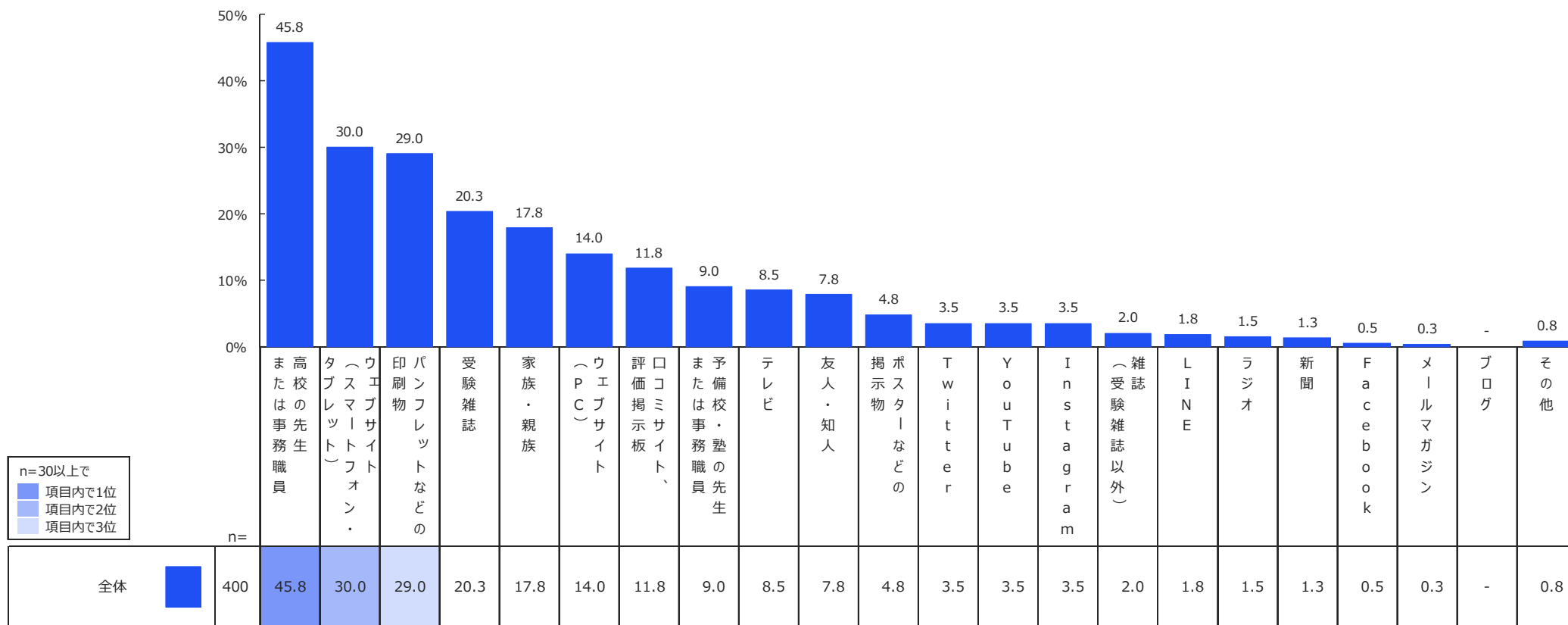
※全体の値を基準に降順並び替え

Q12 「高等教育の修学支援新制度」などの進学に関する情報は、どのようなもので案内されていたら知ることができたと思いますか。主なものを3つまで選んでください。(複数回答)
 【「高等教育の修学支援新制度」についていずれも知らない回答者ベース】

7 進学に関する情報の収集経路

高校生

- 「高校の先生または事務職員」が46%で最も高い。「ウェブサイト（スマートフォン・タブレット）」（30%）、「パンフレットなどの印刷物」（29%）と続く。
- 「高校の先生または事務職員」からの認知率は高校生・保護者ともに高く、高校へ向けての情報発信が重要であることがわかる。



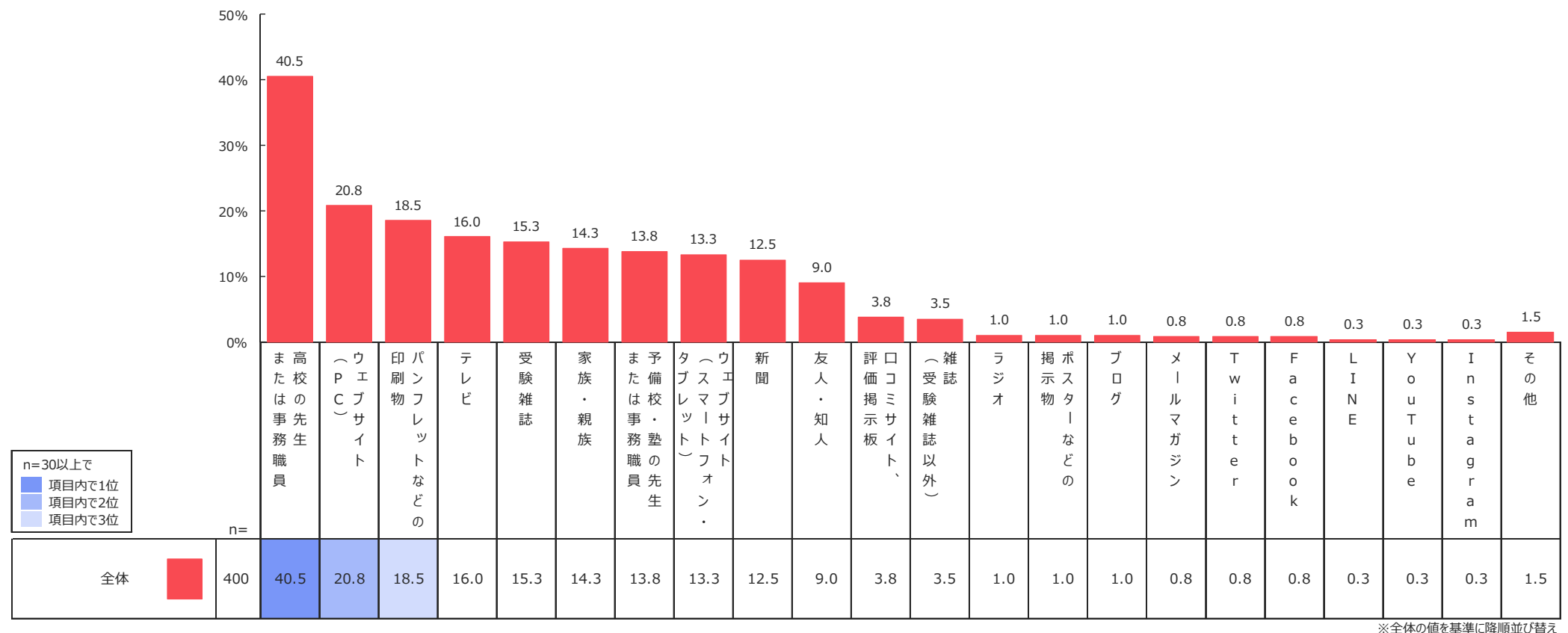
※全体の値を基準に降順並び替え

Q13 あなたは進学に関する情報を、どこから入手しましたか。主なものを3つまで選んでください。（複数回答）

7 進学に関する情報の収集経路

保護者

- 「高校の先生または事務職員」が41%で最も高い。「ウェブサイト（PC）」（21%）、「パンフレットなどの印刷物」（19%）と続く。
- 高校生と保護者では、上位3位の情報収集経路自体は同じだが、「ウェブサイト」の使用デバイスが異なり、高校生はスマートフォン・タブレット、保護者はPCを利用。ともに情報提供時に欠かせないことがわかる。

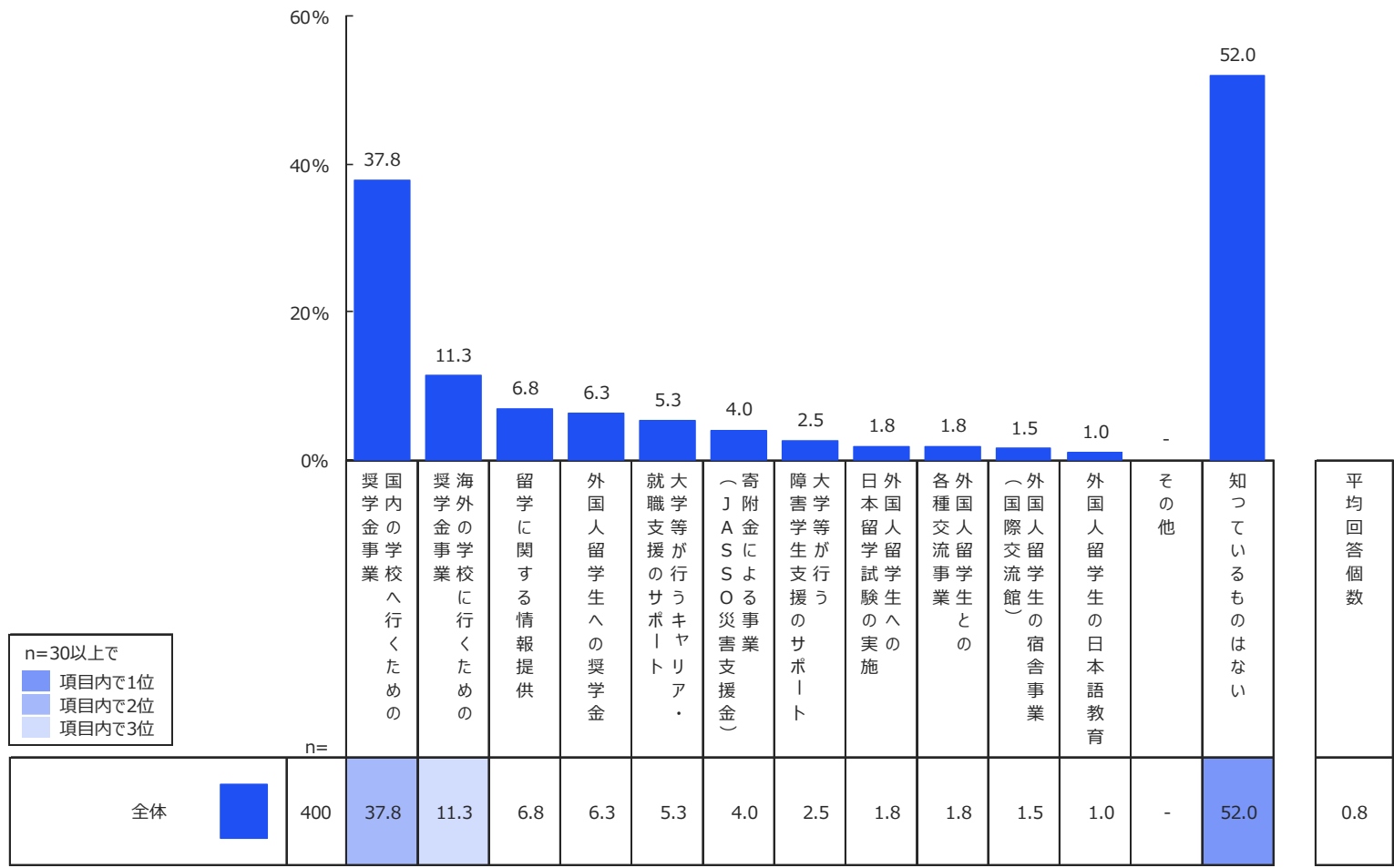


Q13 あなたは進学に関する情報を、どこから入手しましたか。主なものを3つまで選んでください。（複数回答）

8 日本学生支援機構の事業認知状況

高校生

■ 「国内の学校へ行くための奨学金事業」が38%で、他の事業の3倍以上。「海外の学校に行くための奨学金事業」は11%。



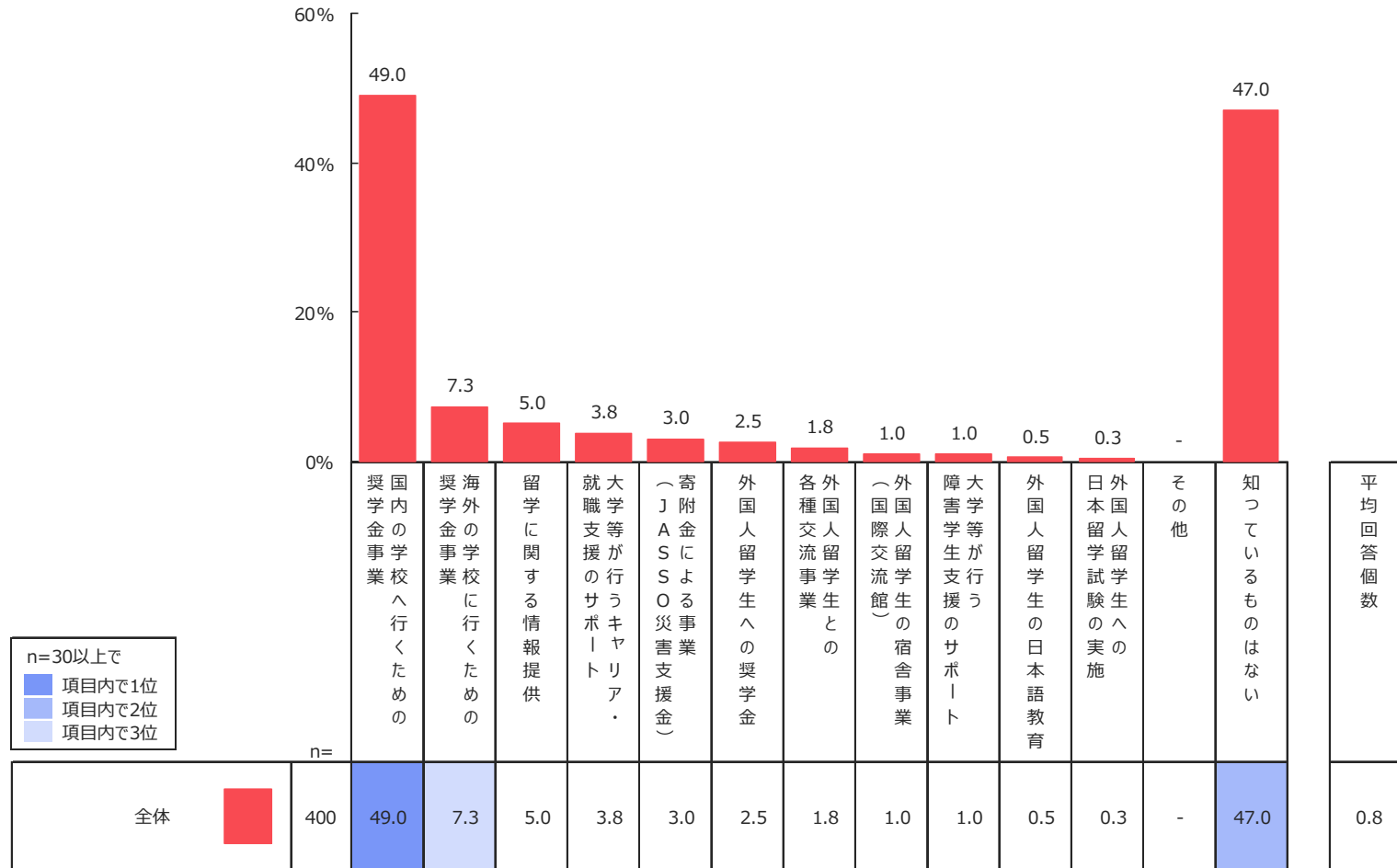
※全体の値を基準に降順並び替え

Q14 日本学生支援機構（JASSO）が行っている事業のうち、知っているものを全てお選び下さい。（複数回答）

8 日本学生支援機構の事業認知状況

保護者

■ 「国内の学校へ行くための奨学金事業」が49%で、高校生に比べ認知率が高く、学費等についての関心が比較的高いことがわかる。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q14 日本学生支援機構（JASSO）が行っている事業のうち、知っているものを全てお選び下さい。（複数回答）

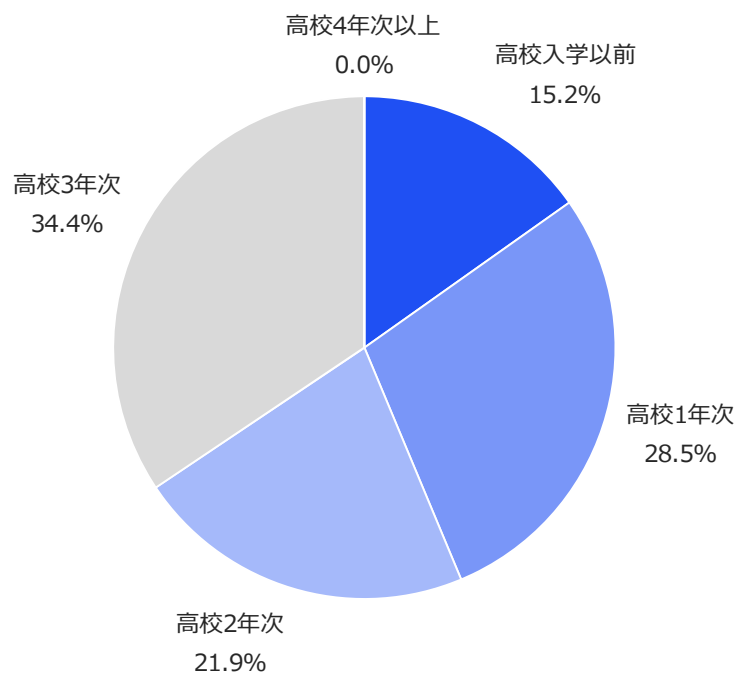
9 国内奨学金事業の認知時期

高校生

保護者

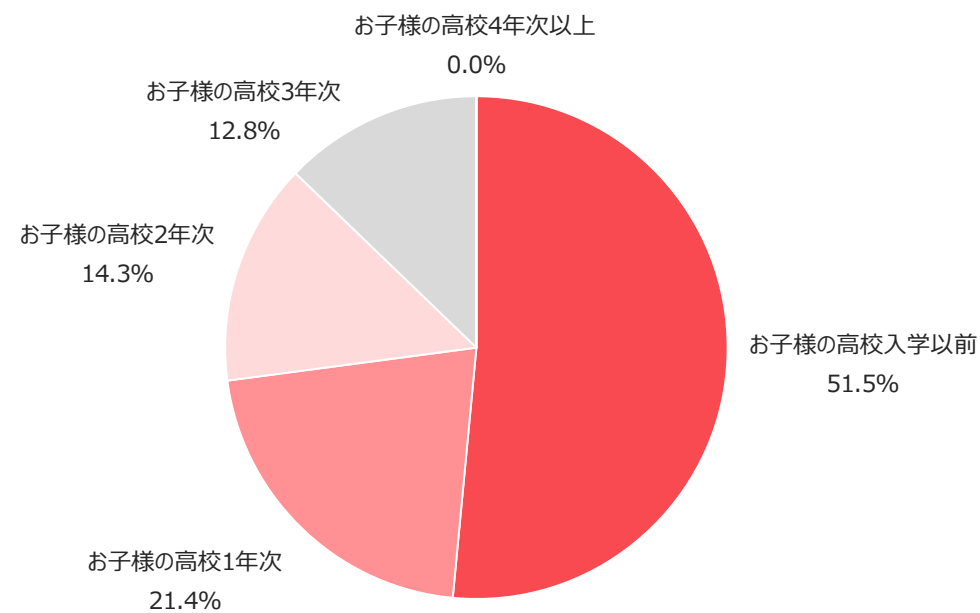
- 高校生では、「高校3年次」が34%で最も高い。一方、保護者は、「お子様の高校入学以前」が52%で、前もって子の学費等を考えているため、奨学金の認知時期が早いと考えられる。

高校生



(n=151)

保護者



(n=196)

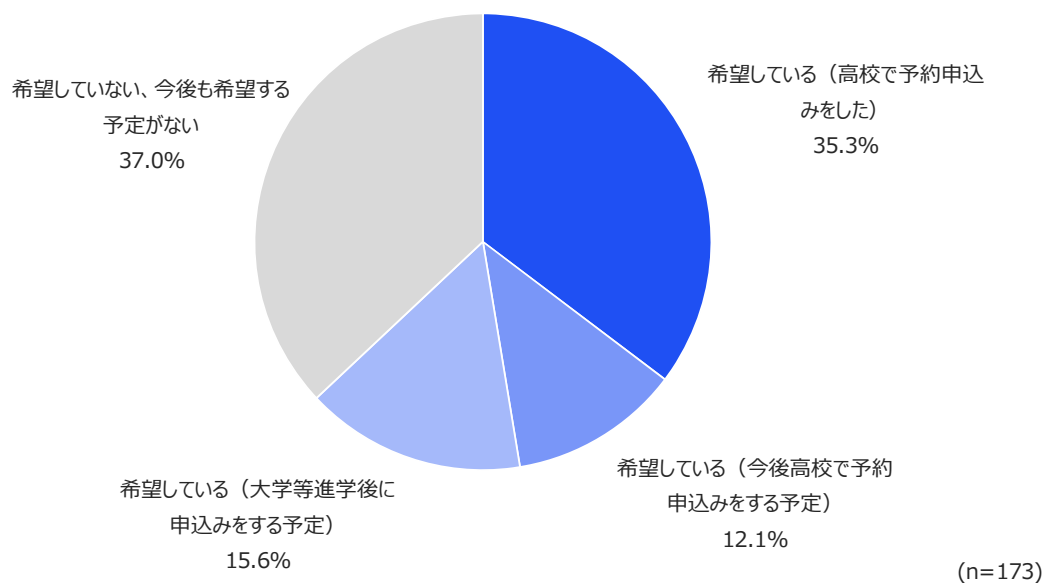
Q15 あなたは日本学生支援機構（JASSO）の「国内の学校へ行くための奨学金事業」を、いつ知りましたか。（単一回答）
【国内奨学金事業認知者ベース】

10 日本学生支援機構の奨学金利用意向

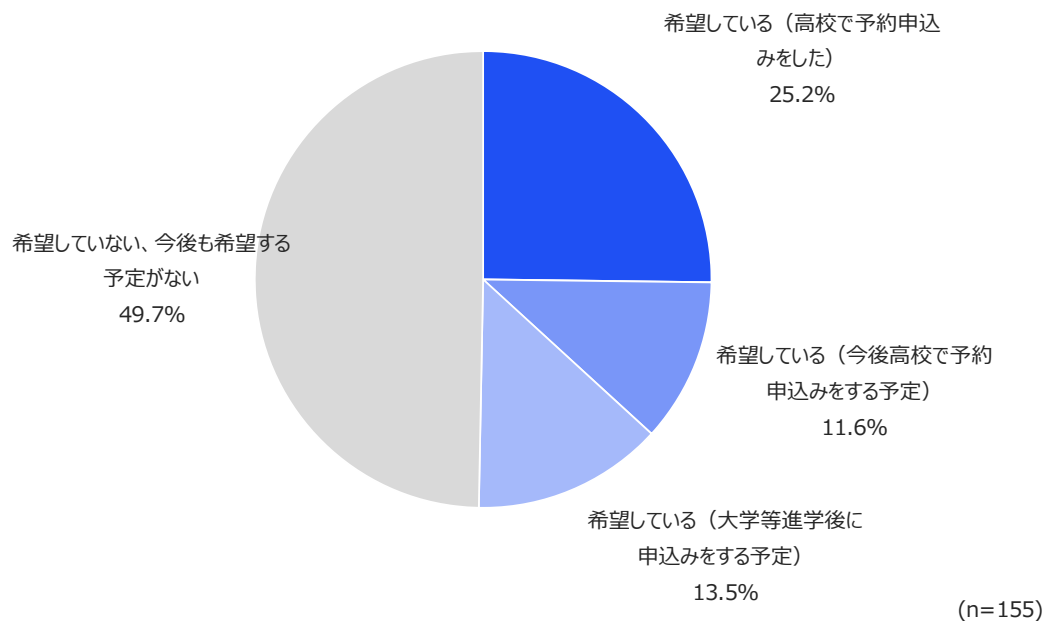
高校生

- 「貸与奨学金」を希望している者が63%。「高校で予約申込みをした」のは全体の35%。
- 「給付奨学金」を希望している者が50%。「高校で予約申込みをした」のは全体の25%。
- 利用意向のある高校生において、予約申込みを利用するとの回答が貸与奨学金で75%。給付奨学金で73%と高い。

貸与奨学金



給付奨学金



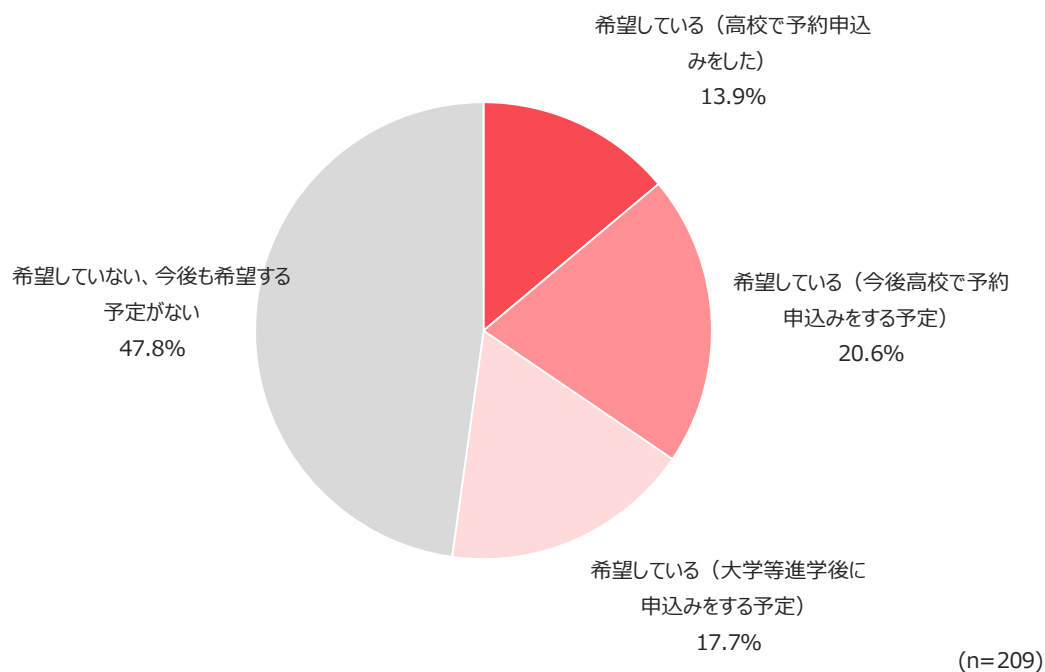
Q16 あなた（または、あなたのお子様）は日本学生支援機構（JASSO）の奨学金の利用を希望していますか。（各単一回答）
【各奨学金の認知者ベース】

10 日本学生支援機構の奨学金利用意向

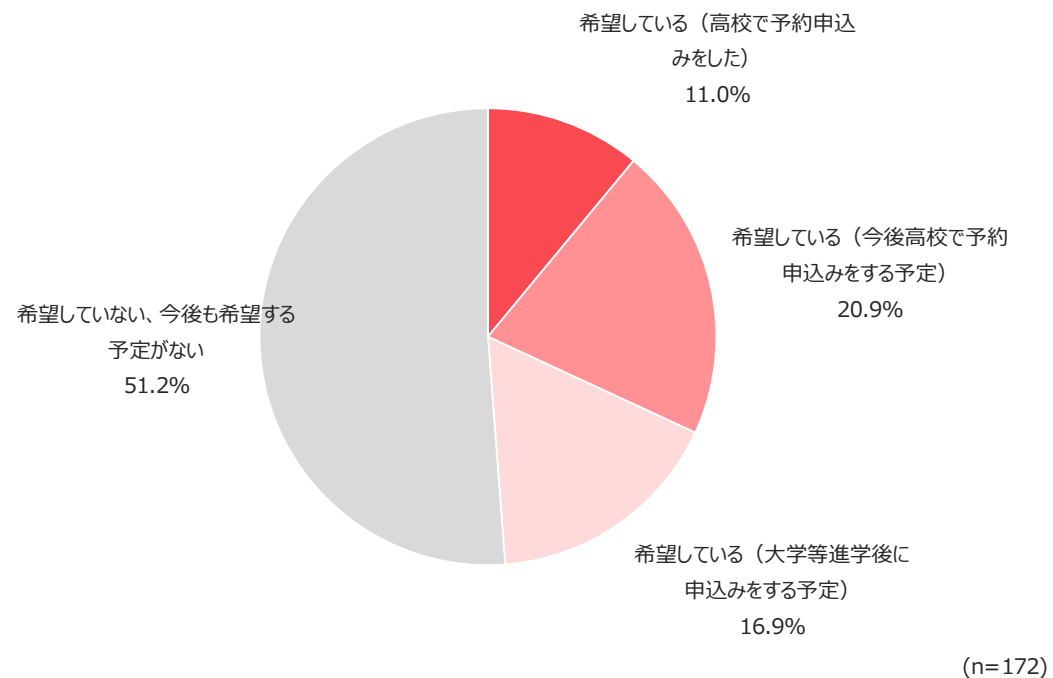
保護者

- 「貸与奨学金」を希望している者が52%。「高校で予約申込みをした」のは全体の14%。
- 「給付奨学金」を希望している者が49%。「高校で予約申込みをした」のは全体の11%。
- 利用意向のある保護者において、予約申込みを利用するとの回答が貸与奨学金で66%。給付奨学金で65%。高校生に比べ、その比率が低い。

貸与奨学金



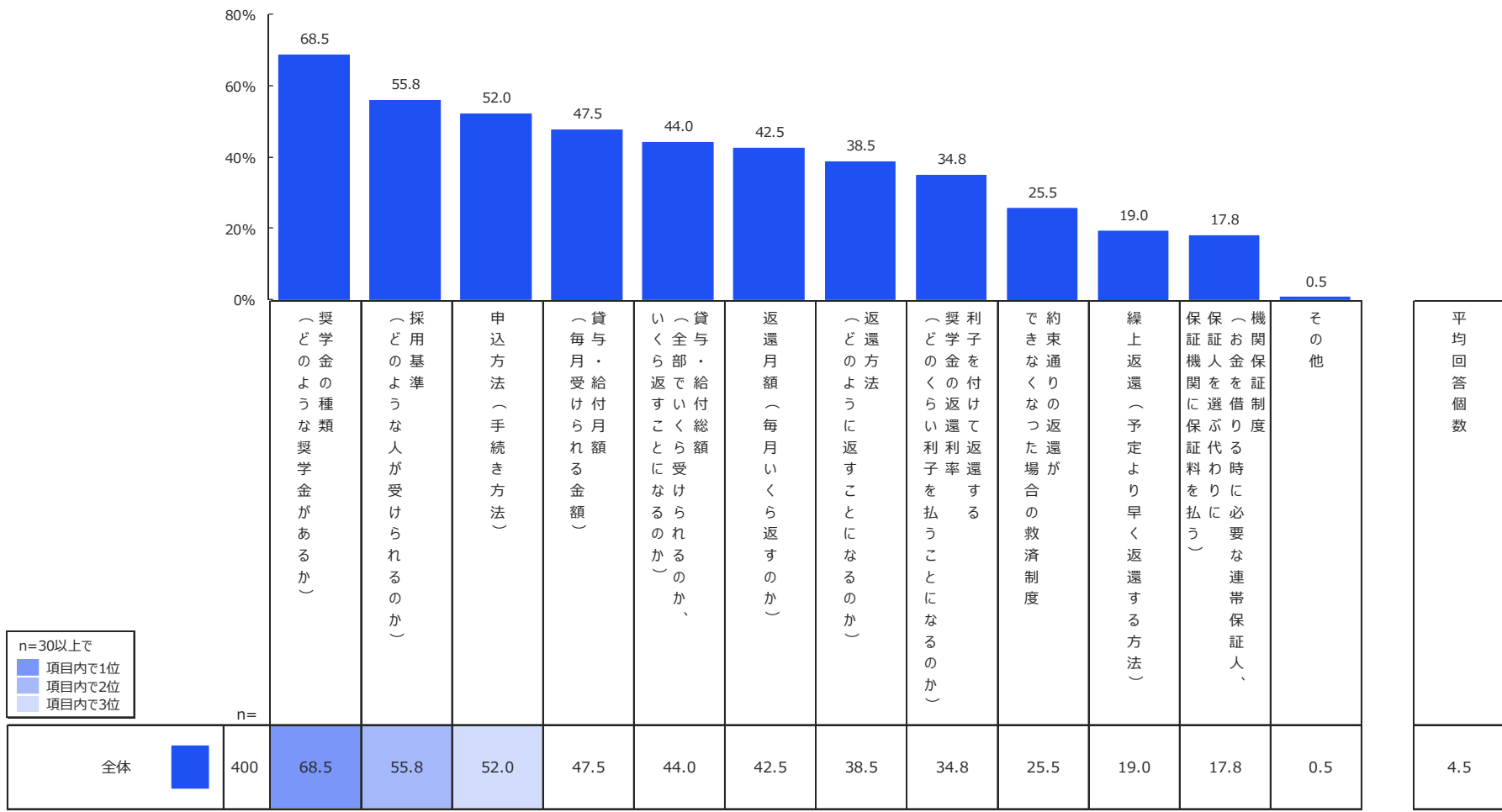
給付奨学金



Q16 あなた（または、あなたのお子様）は日本学生支援機構（JASSO）の奨学金の利用を希望していますか。（各単一回答）
【各奨学金の認知者ベース】

11 奨学金利用の際に知りたい情報

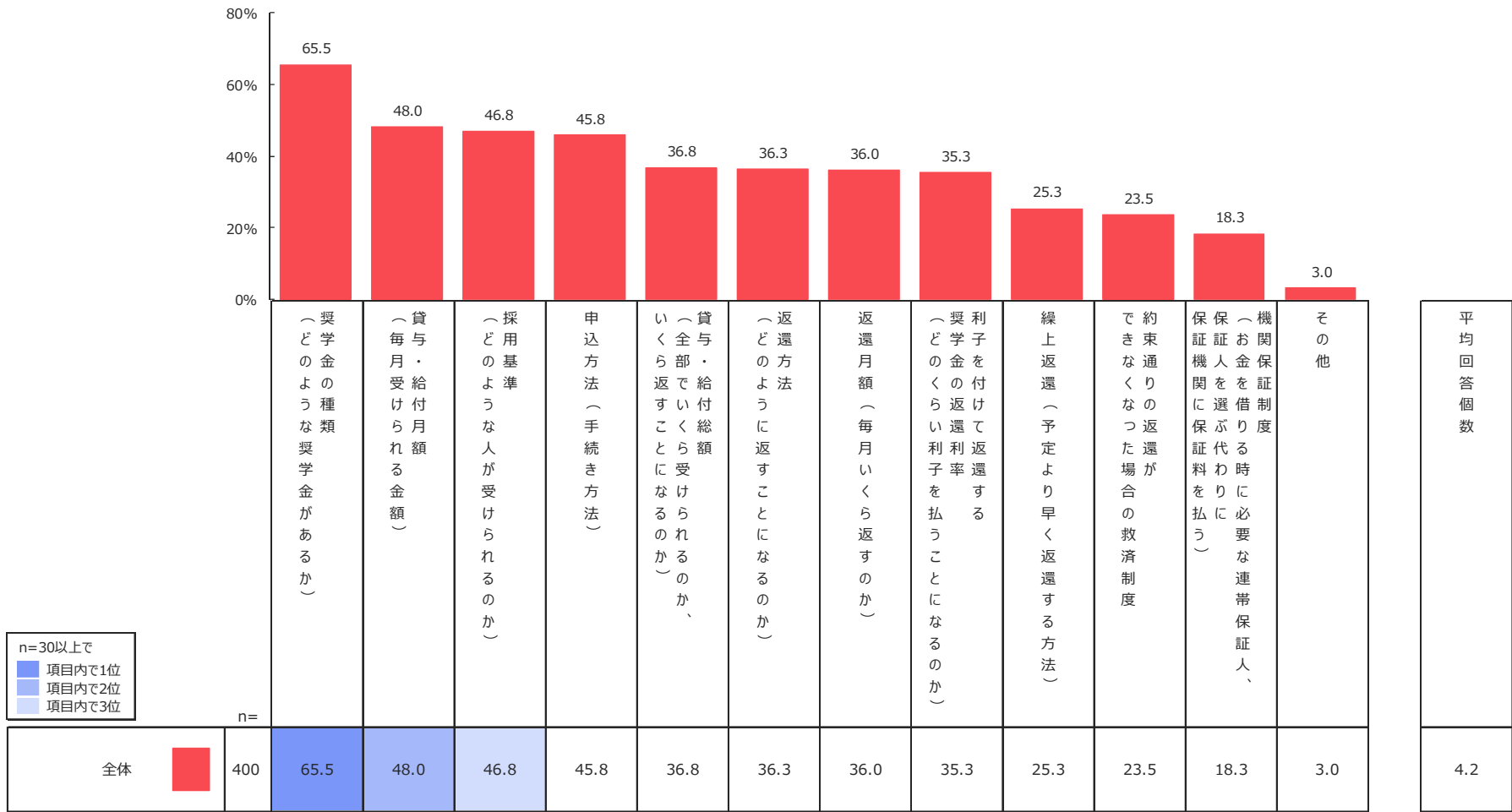
- 「奨学金の種類」が69%で最も高いが、「採用基準」(56%)、「申込方法」(52%)も5割を超え、申込みを検討している高校生が多いことがわかる。また、返還について知りたいとの回答も一定数あり、返還について認識していることがわかる。
- 高校生・保護者とも「奨学金の種類」を知りたいとの回答が多く、「早わかりガイド」のような簡潔にまとめた印刷物も周知に効果的であると考えられる。



Q17 あなた（または、あなたのお子様）が奨学金の利用を考える際に、知りたい情報はなんですか。（複数回答）

11 奨学金利用の際に知りたい情報

■ 「奨学金の種類」が66%。続いて「貸与・給付月額」(48%)が高く、学費等の準備への保護者の意識の高さがうかがわれる。



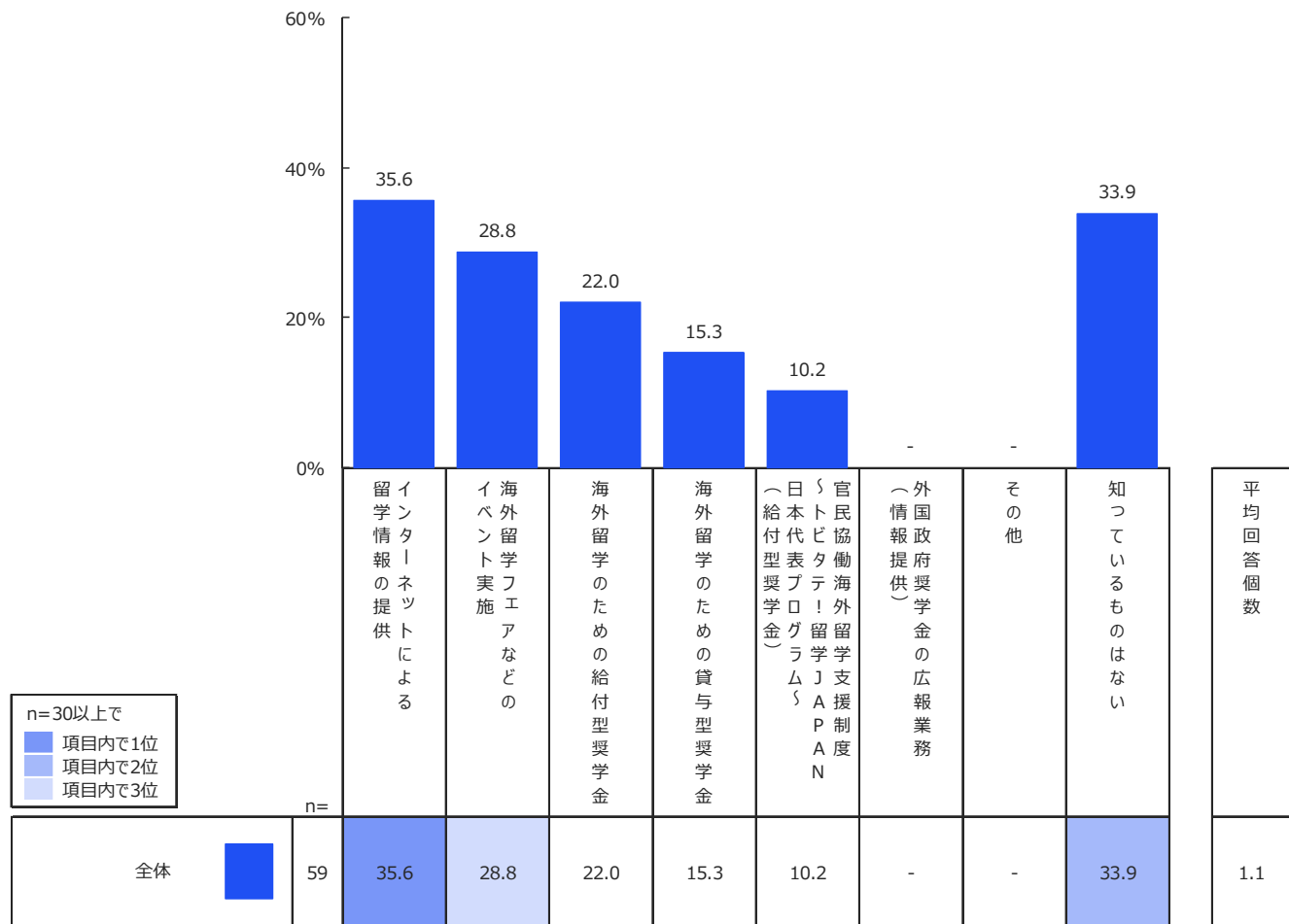
※全体の値を基準に降順並び替え

Q17 あなた(または、あなたのお子様)が奨学金の利用を考える際に、知りたい情報はなんですか。(複数回答)

12 海外留学支援事業の認知状況

高校生

■ 「インターネットによる留学情報の提供」が36%で最も高い。
次に「海外留学フェアなどのイベント実施」(29%)、「海外留学のための給付型奨学金」(22%)。

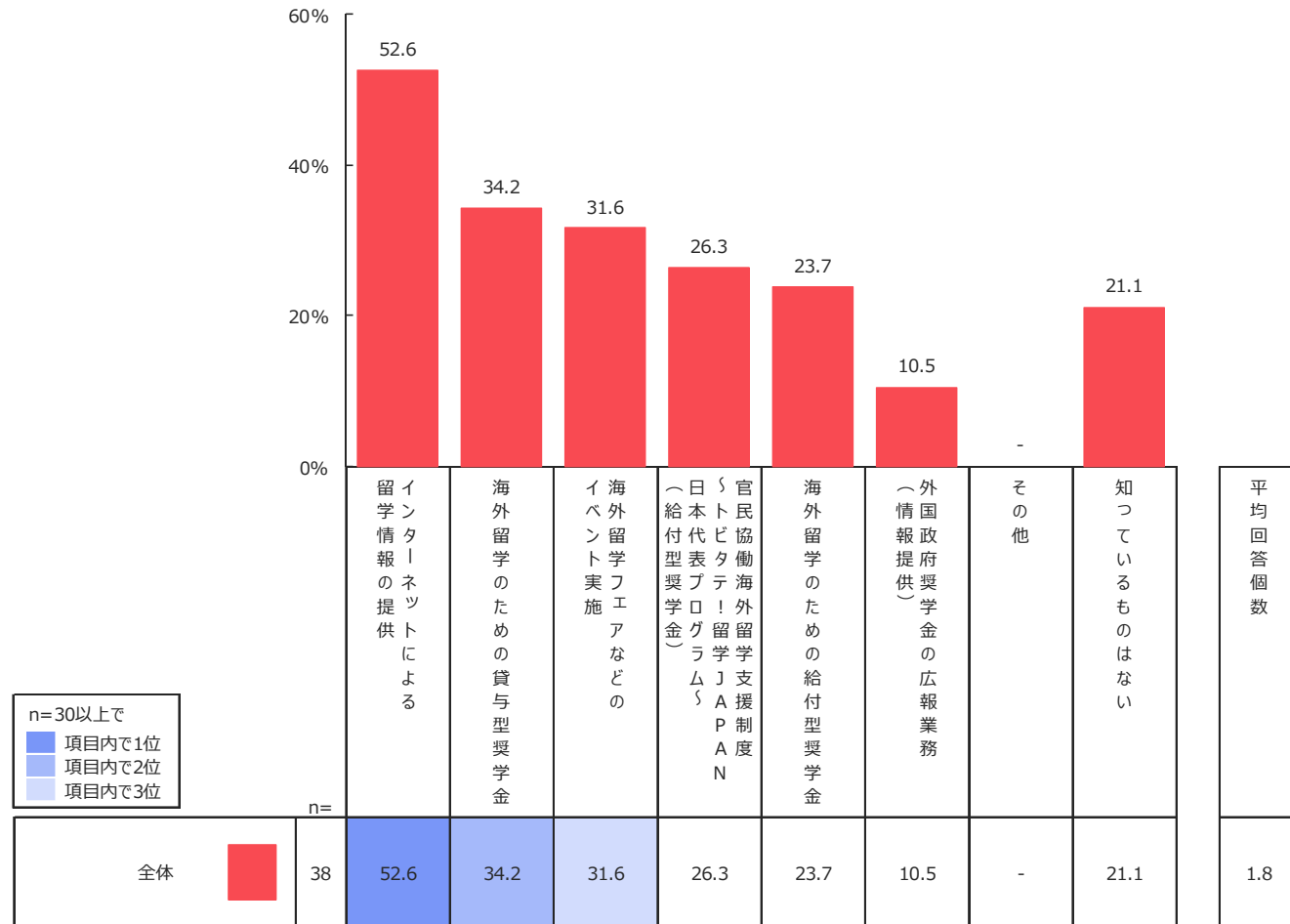


Q18 日本学生支援機構 (JASSO) の「海外留学支援事業」で、知っているものを全て選んでください。(複数回答)
【日本学生支援機構の事業のうち、「海外の学校に行くための奨学金事業」「留学に関する情報提供」いずれか認知者】

12 海外留学支援事業の認知状況

保護者

- 「インターネットによる留学情報の提供」が53%で最も高い。次に「海外留学のための貸与型奨学金」が34%で、留学費用について情報収集する際に認知されていることがうかがわれる。



Q18 日本学生支援機構 (JASSO) の「海外留学支援事業」で、知っているものを全て選んでください。(複数回答)
【日本学生支援機構の事業のうち、「海外の学校に行くための奨学金事業」「留学に関する情報提供」いずれか認知者】

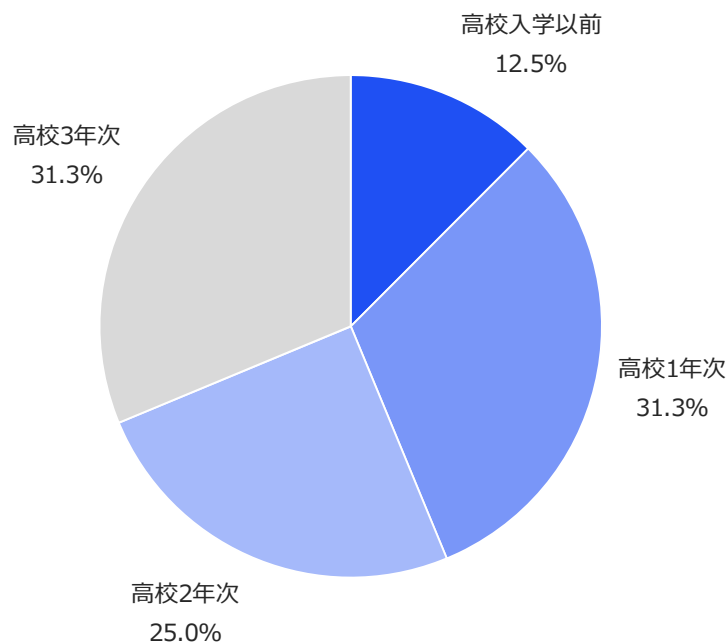
14 海外留学向け給付型奨学金の認知時期

高校生

保護者

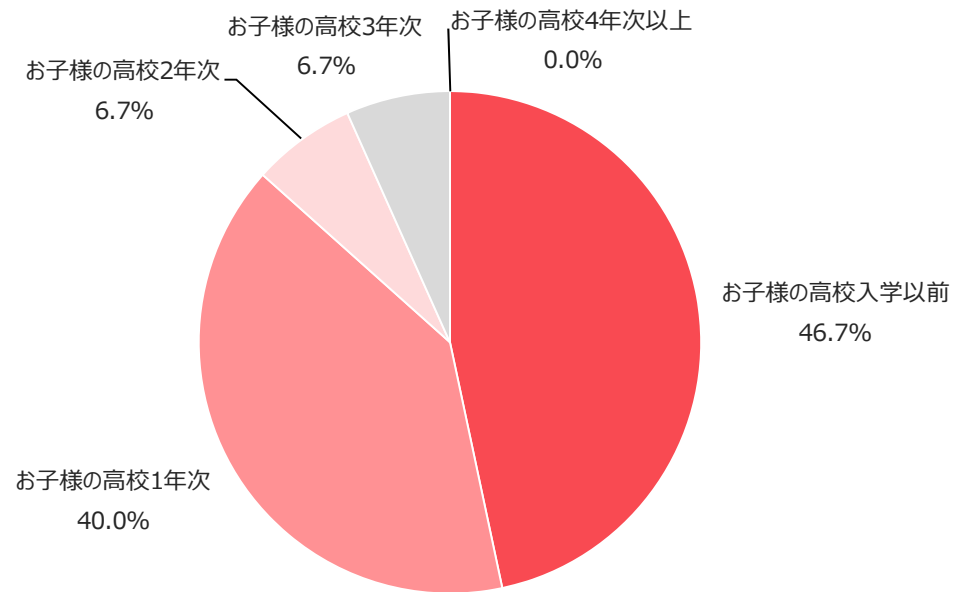
- 給付型奨学金についての認知時期は、保護者においては、「お子様の高校入学以前」との回答が最も多く、早い段階から留学費用等の情報を収集していることがわかる。
- 高校生においても、高校1年次との回答が31%で、留学向けの奨学金の案内は高校入学時から実施することが効果的であると考えられる。

高校生



(n=16)

保護者



(n=15)

Q20 あなたは日本学生支援機構（JASSO）が実施する海外留学向け給付型奨学金を、いつ知りましたか。（単一回答）
【日本学生支援機構の事業のうち、「海外留学のための給付型奨学金」「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～（給付型奨学金）」いずれか認知者】

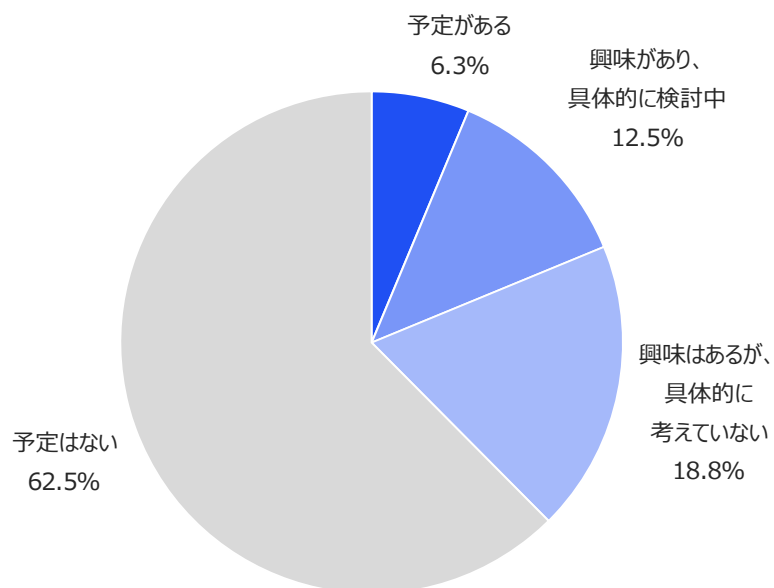
15 高校卒業後や進学後の留学予定

高校生

保護者

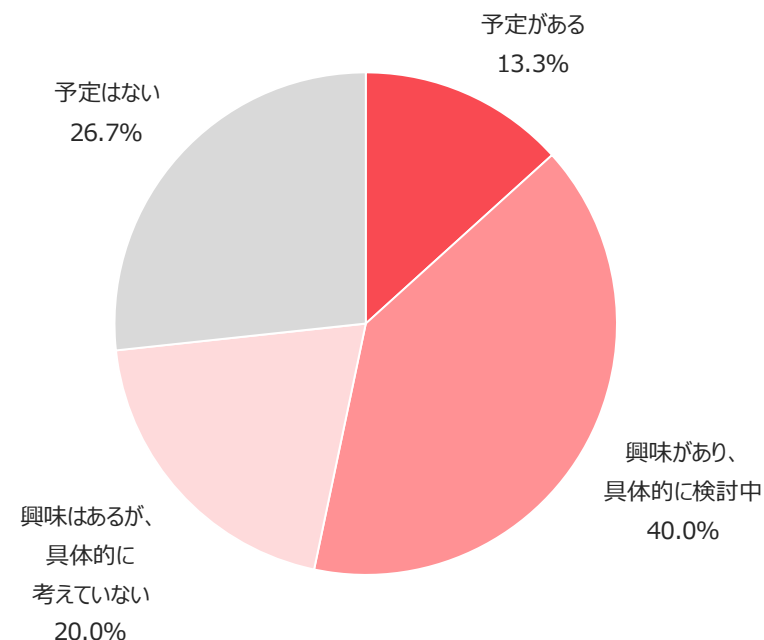
- 留学について「興味はあるが、具体的に考えていない」と回答した高校生は19%。JASSOの留学情報等により、具体的な検討を行う高校生が増える可能性が考えられる。
- 給付型奨学金を認知している保護者において、留学の「予定はない」との回答は27%。子の留学に興味がある保護者は奨学金等具体的な留学費用の情報収集を行っていることがわかる。

高校生



(n=16)

保護者



(n=15)

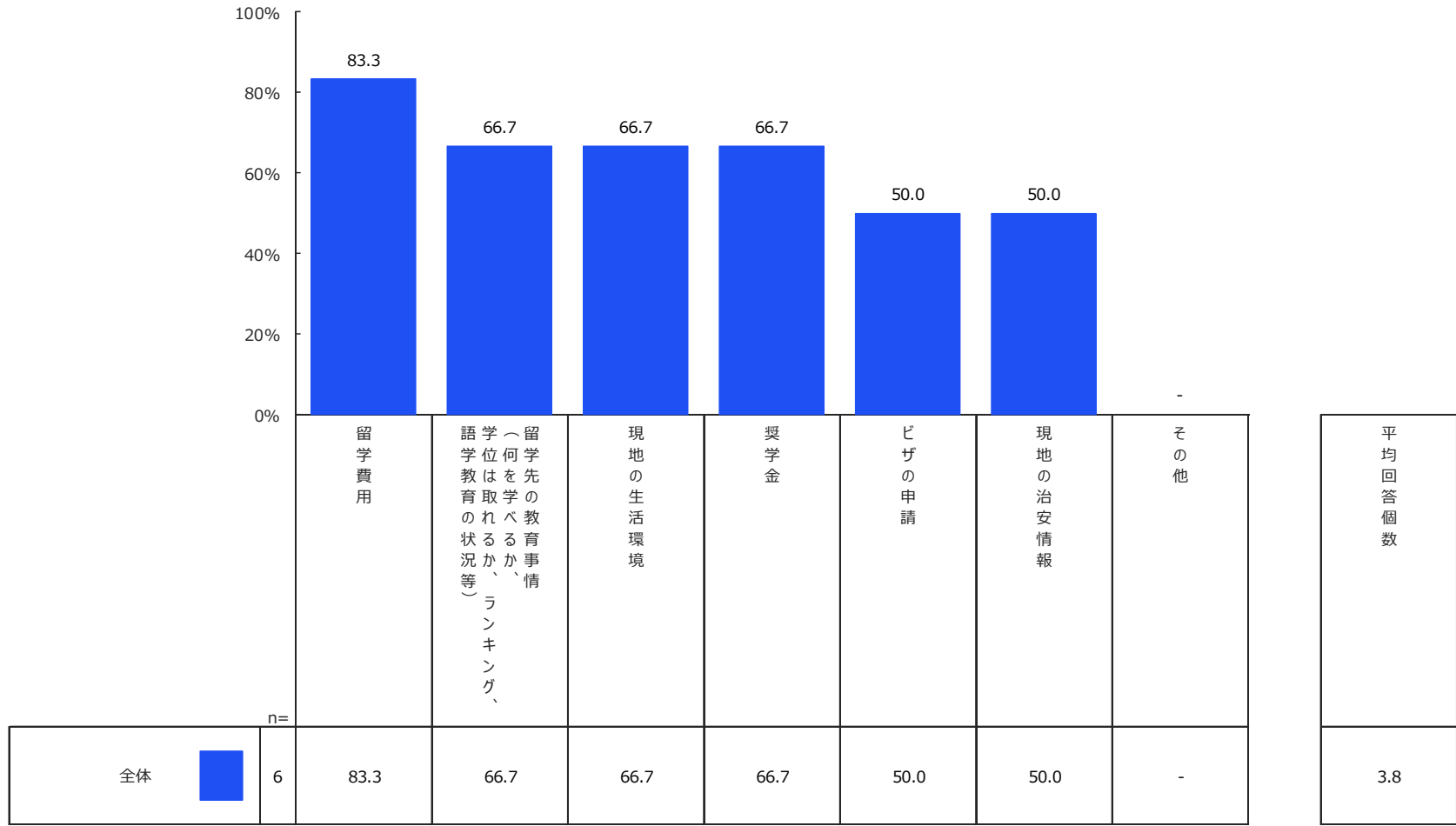
Q21 あなたは（または、あなたのお子様）は、高校卒業後又は進学後に留学をする予定がありますか。（単一回答）

【日本学生支援機構の事業のうち、「海外留学のための給付型奨学金」「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～（給付型奨学金）」いずれか認知者】

16 海外留学について知りたい情報

高校生

- 「留学費用」の情報を知りたいとの回答が83%と高い。
- 留学費用と奨学金の情報を併せて周知することにより、留学を考える高校生に有益な情報提供をすることが出来ると考えられる。



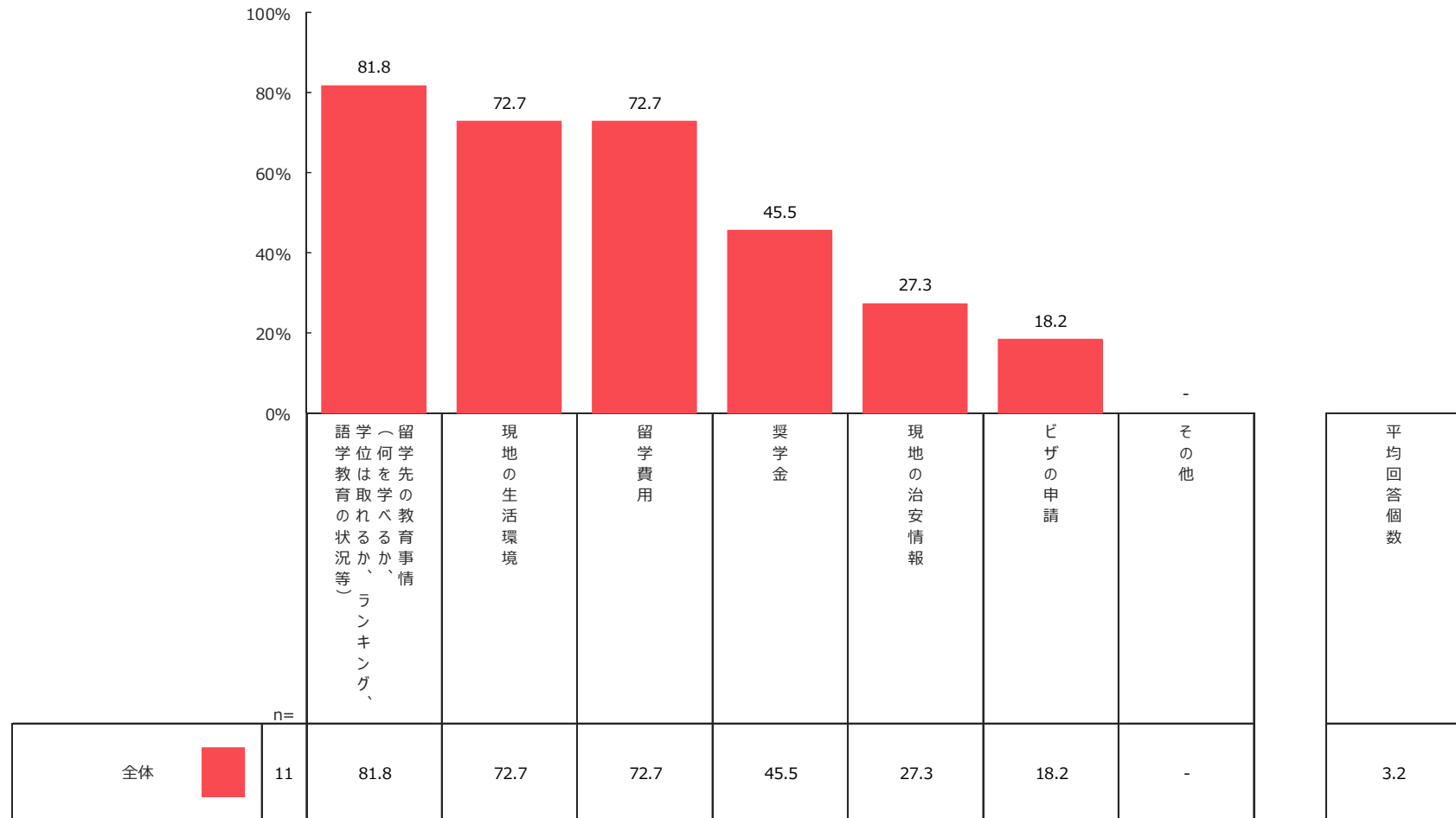
※全体の値を基準に降順並び替え

Q22 海外留学について、どのような情報を知りたいですか。(複数回答)
【Q21で海外留学に興味があると回答した回答者ベース】

16 海外留学について知りたい情報

保護者

■ 「留学先の教育事情」の情報を知りたいとの回答が82%と高く、子の留学について具体的な教育効果に興味があることがわかる。



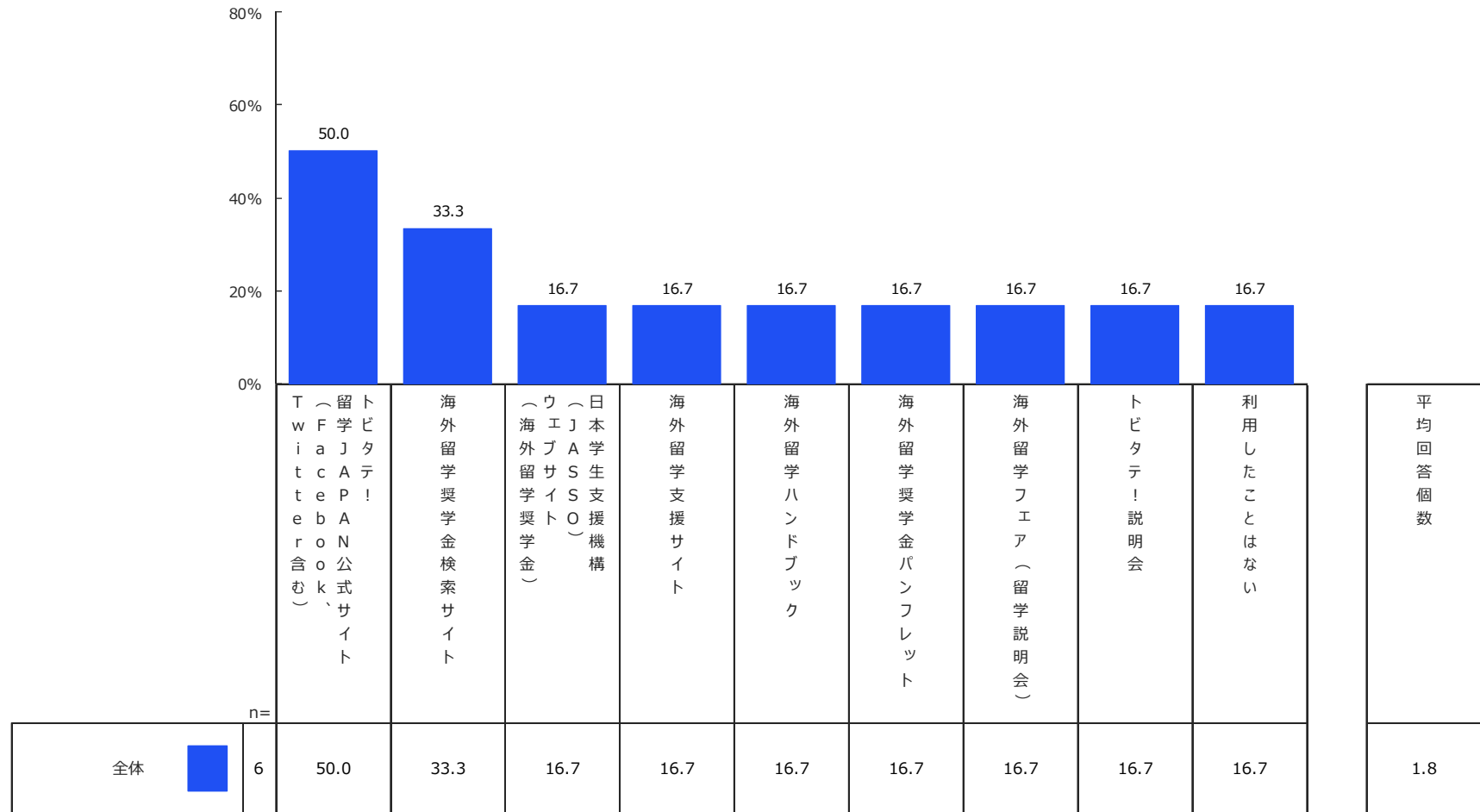
※全体の値を基準に降順並び替え

Q22 海外留学について、どのような情報を知りたいですか。(複数回答)
【Q21で海外留学に興味があると回答した回答者ベース】

17 日本学生支援機構の、海外留学用ツールの利用状況

高校生

■ 高校生においては、SNSによる海外留学情報の利用者が半数。JASSOが行っているSNSによる情報発信は効果的であると考えられる。



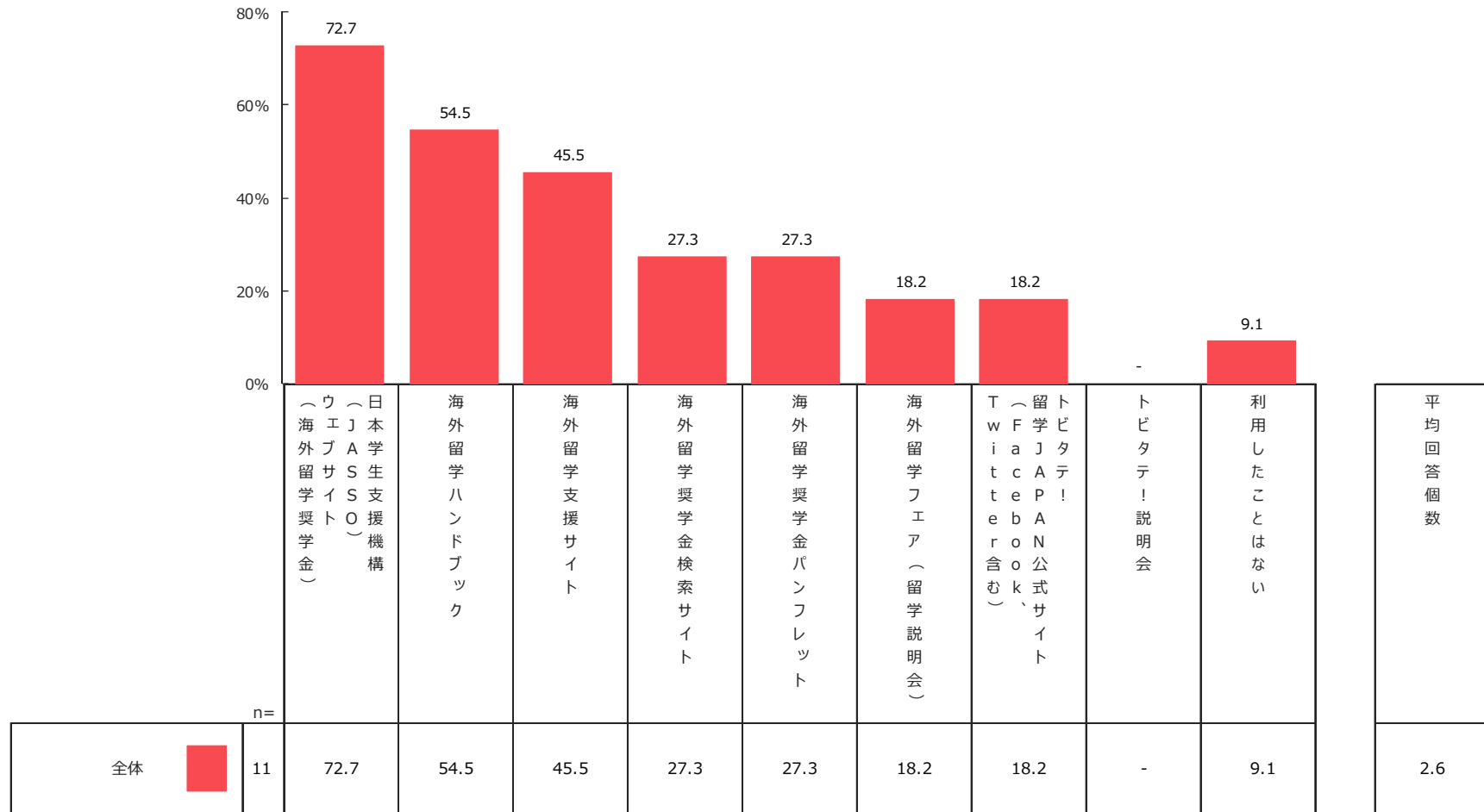
※全体の値を基準に降順並び替え

Q23 海外留学の情報収集のため、日本学生支援機構 (JASSO) の情報提供ツールで利用したことがあるものを全て選んでください。(複数回答)
【Q21で海外留学に興味があると回答した回答者ベース】

17 日本学生支援機構の、海外留学用ツールの利用状況

保護者

■ JASSOホームページを利用して情報収集を行っている保護者は73%。「海外留学ハンドブック」・「海外留学奨学金パンフレット」も活用されており、JASSOの情報発信ツールは効果的であると考えられる。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q23 海外留学の情報収集のため、日本学生支援機構（JASSO）の情報提供ツールで利用したことがあるものを全て選んでください。（複数回答）
【Q21で海外留学に興味があると回答した回答者ベース】

18 日本学生支援機構に対してイメージされた単語

高校生

保護者

- JASSOについてイメージした単語を回答数の多い順に記載。
- 「奨学金」に次いで、「難しい」と回答した高校生が多く、JASSOの業務をより分かりやすく平易な言葉で説明する必要がある。
- 保護者の回答には「お金」「借金」「大変」との単語があげられ、返還への意識が高いことがわかる。

高校生

1つめ

- ・ 奨学金
- ・ 難しい
- ・ 支援
- ・ 便利
- ・ 安心
- ・ 借金
- ・ お金
- ・ 優しい
- ・ すごい
- ・ 学生に優しい

2つめ

- ・ 奨学金
- ・ 支援
- ・ 安心
- ・ 便利
- ・ 借金
- ・ ありがたい
- ・ 助かる
- ・ サポート
- ・ 親切
- ・ 援助

保護者

1つめ

- ・ 支援
- ・ 大学
- ・ お金
- ・ 学生
- ・ 奨学金
- ・ 借金
- ・ 大変
- ・ 留学
- ・ 良い
- ・ 安心

2つめ

- ・ 支援
- ・ 安心
- ・ 借金
- ・ 助かる
- ・ 奨学金
- ・ 貸与
- ・ 返済
- ・ 希望
- ・ 救済
- ・ 給付

Q24 このアンケートを通して、日本学生支援機構（JASSO）に対してイメージする単語を2つ挙げてください。（自由回答）

19 日本学生支援機構へのご意見・ご要望

高校生

保護者

高校生

- インターネットで行う手続き+紙での手続きがあるので安心して申し込めると思う。
- コマーシャルやテレビ番組SNSなどで情報提供してほしい。(もっと積極的に)
- これからの時代において、支援や奨学金のことについて伝えて欲しい。
- できるだけ、給付金を増やしてほしい。分かりやすくしてほしい。情報発信をもっとしてほしい。
- もっと詳しく分かりやすく教えて欲しい。分からないところがあった時に質問できる場が欲しい。
- もっと身近に感じられるようにしてほしい。説明が難しく、不安になるのもっとわかりやすくしてほしい。
- 高校1、2年生に頭に入れてもらうために、講話とかした方がいいと思う。
- 受け取れる採用基準が複雑だと困るので、分かりやすく簡単にしてほしい。
- 申請関係の書類や資料が読みづらいものが多くて時間がかかる割に期限が短すぎる。
- 分かりやすいパンフレットを作って欲しい。
- 母子家庭が本当に家計に苦しんでいるのかを徹底的に調べて欲しい。

保護者

- (有償の場合) これは借金であり、返還する義務があることをもっと周知させた方が良い。「奨学金」だと、返還の義務が無いような錯覚を起こさせる。
- 学校を通してでもいいから情報は欲しい。
- 給付型奨学金の対象を広げてほしい。
- 支援を受ける事が出来る条件を最初に打ち出して欲しい。
- 情報提供する機会を増やしてほしい。
- 説明文が堅苦しく今時の子供に理解しづらいです。
- 早生まれは色んな面で損しています。扶養控除にしても一年おくれるので、少しの差で色々な補助が受けられないこともあります。同じ学年で同じ基準、誕生日ではなく、考えてほしい。

Q25 日本学生支援機構 (JASSO) 及びJASSOが行う学生支援事業について、ご意見、ご要望をできる限り具体的にご記入ください。(自由回答)